

Title: 海外フィールドワーク引率ブログ2011



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～

引率Staff
長坂 大輔

● 最近のエントリー

Day 132, Beijing, China

(2011.07.31)

Day 131, Beijing, China

(2011.07.31)

Day 130, Beijing, China

(2011.07.26)

Day 129, Shaoxing, China

(2011.07.26)

● アーカイブ

2012年03月

2011年09月

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.31

Day 132, Beijing, China

[Tweet](#)[Check](#)引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 1 日目

11th day in China.

柳川さんと市の近くからバスに乗り、
「北京 798 芸術区」へ行ってきました。引率Staff
長坂 大輔

● 最近のエントリー

Day 132, Beijing, China

(2011.07.31)

Day 131, Beijing, China

(2011.07.31)

Day 130, Beijing, China

(2011.07.26)

Day 129, Shaoxing, China

(2011.07.26)

● アーカイブ

2012年03月

2011年09月

RSS 2.0

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.31

Day 132, Beijing, China

[Tweet](#)[Check](#)引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 1 日目

11th day in China.

柳川さんと市の近くからバスに乗り、
「北京 798 芸術区」へ行ってきました。

せいたくにスペースを使った展示がたくさん催されています。

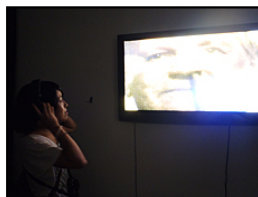
とても大きなギャラリーがたくさんあって良いですね。



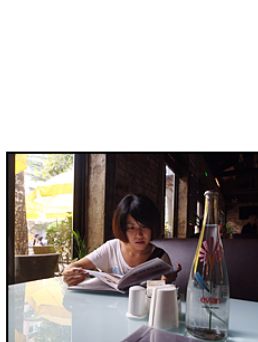
外にもこんな展示。



映像。



ほとんどにギャラリーが多くて、一日では回りきれないかもしれません。



書店には海外の本も、もちろん中国の美術書もたくさんありました。

個人的には中国の作家の本をもっと読みあさりたかったです。

中国のアート、ギャラリーシーンが気になるかは、ぜひ798へ！





宙にて定時連絡をする柳川さん。



そして、一日二魚を続けてしまうほどの美味しさの唐揚げ屋さんでこの時も一魚。



カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.31 | [バナーリンク](#) | [コメント\(8\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 131, Beijing, China

[Tweet](#)

[Check](#)引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 10日目
10th day in China.

中国のおいしい料理屋さんは常に人がたくさんいます。
宙から一駅歩く途中に明らかに繁盛しているお店があったので入ってみました。
そこにあったのがこの料理。
「唐煎火焼」 中華風パンモチ煮込み。
ボリュームたっぷりで良く煮込まれた肉たちと、
よくスープのしみたパン。
おいしいです。

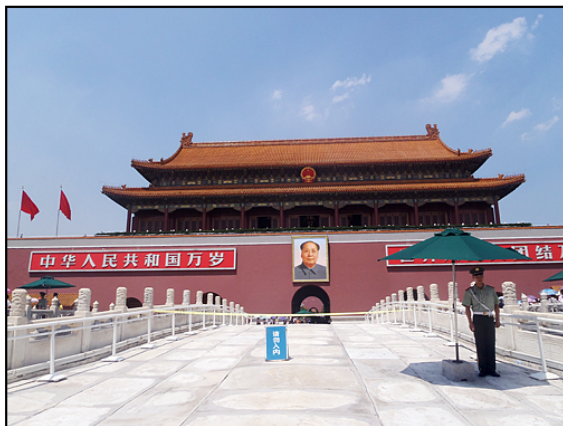




そしてめずらしく快晴の中、天安門へ。

人でごった返しています。

近年中国国内からの来場者がまた増えたんじゃないでしょうか。



木陰で休む観光客と常にゴミを集める続ける清掃員。



土産物屋さん。



北京オリンピックの前は飾り物のため、故宫、紫禁城への門は閉ざされていました。

しかし、今回はその門を越え中へ。

日本語含む各言語の音声ガイドも１００円で貸し出されている為、
清朝、紫禁城好きのかたはぜひ利用をお勧めします。



チケット売り場で５０元の入場料を払い、荷物検査をして中へ。

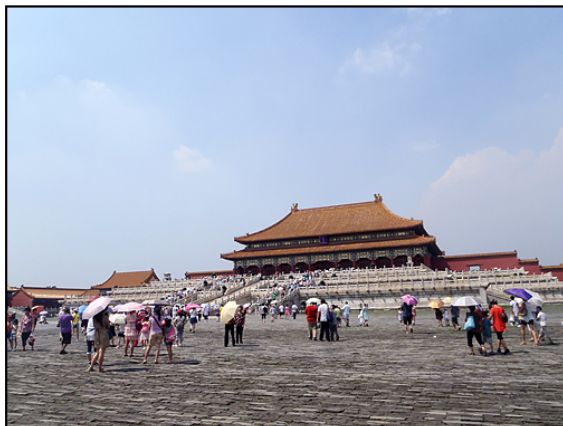
広い！

第一印象からその広さに心を打たれました。



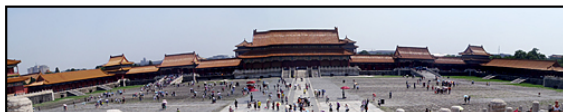
この日は私が北京に滞在していた中でも一番の快晴と暑さ。

観光客たちもあまりの暑さに休憩を繰り返していました。



この場所でもまだ人が政を行い、生活をしていた時代、
どんな気持ちでこの風景を眺めていたのでしょうか。

とてつもなく外界とは違った世界がここにはあったのでしょう。





現存する中国最古の木造建築、「太和殿」
紫禁城で皇帝による公式行事が催行されました。



そして、常にこのくらい観光客がいる中さらに進んでいきます。

どうやら地方からの団体観光客が多いようです。

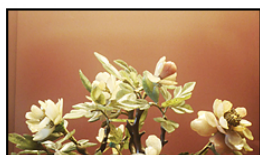
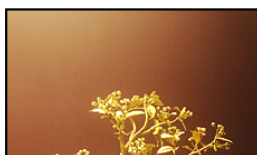


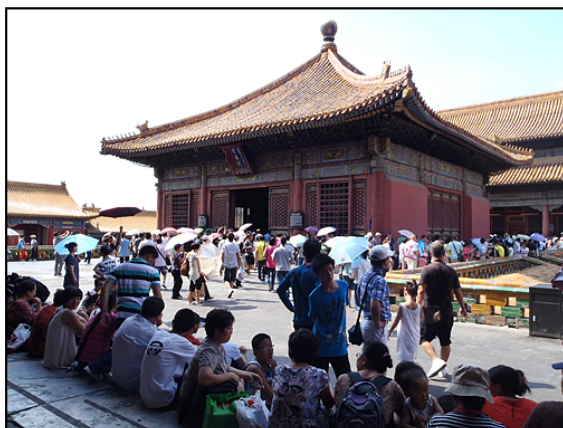
この屋根の色は皇帝を象徴し、大地の色とされています。



展示会も多数紫禁城内で開催されています。

ここは清朝時代の結婚式の展示でした。





清は満州族の王朝だったので、
左に漢字、右にはモンゴル語を改良した満州文字が書かれています。



南の天安門から始まったこの紫禁城見学、
強い日差しの中、歩き続け汗だくになりながらようやく北の神武門に辿り着きました。
やはりここでも思いました。

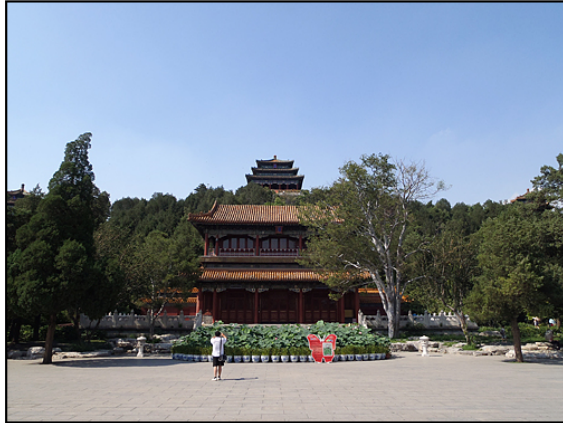
広い！ 遠い！

スケールが違います。





そして、神武門を出たところに見える景山公園(44.6m)へ。



ここは間違いなく、紫禁城の全景を眺めることができるベストスポットでしょう。

世界遺産の眺めを涼しい風に吹かれながら堪能することができます。



まさに、一度は見たかった風景ですね！

圧巻。



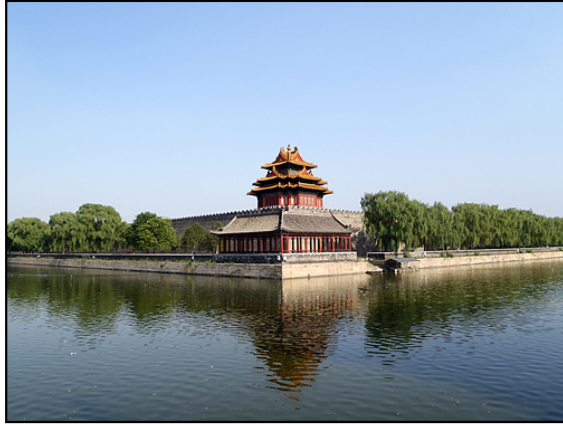
紫禁城の逆側には鼓樓、鐘樓が見えます。

まっすぐに通じている、天安門広場、故宮、景山公園、鼓樓、鐘樓。

何か風水的な哲学があるのでしょう。



北京に来た時はぜひ一度行ってみてください。



カテゴリ:

post by 引宝Staff | 日時: 2011.07.31 | [バーマリンク](#) | [コメント\(5\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引宝ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.26

Day 130, Beijing, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引宝スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国9日目
9th day in China.

北京は毎日雨が降っています。
コルカタほどとはいきませんが、湿気が多く空気がじめじめとしています。

洗濯物をいつ外で干せるのが、濡れるのではないかと
思いながら洗濯をするの日々が続いております。

畜でブログをあげる柳川さん。



やはり柳川さんも底に入ってくれましたが。
木須肉板こと
「モーシーソウファン」

美味しいです。





宙の近くを歩いていると、とても良い香りが漂ってきます。
 香りの出所を探って行くと、そこにあるのは
 唐揚げ屋さん！
 見落しとしそうになるくらい小さな店構えですが、
 揚げたて熱々のその魚はまさに很好吃！

さくさくの衣と新鮮さを感じるぷりぷりの肉感。
 一度かじればこれでもかと肉汁が弾けだし、旨味が味覚を驚かせます。



宙の日本語を勉強しているスタッフさんに
 「この近くで美味しい中華料理屋さんはありませんか？」
 と聞きました。
 すると
 「龍蝦(ロンシャー)がほんと、もう、おいしいんですよ！ ぜひっ！」
 とのこと。
 「すみません、ロンシャーって何ですか？」
 「んー、日本語ではなんと言うのでしょうか。今度一緒に食べに行きましょう。」

そして誘われるがままに宙の近くの中華料理屋さんへ来たものの
 未だ「ロンシャー」の正体は分らず。

ビニールに張られた食器を開けたところから食事スタートです。



饅頭に、溶けるほどにやわらかく煮込んだ肉をはさんで食べます。



惣品食べていたらとうとう
 龍蝦・ロンシャーが登場しました。
 腕力のあるような赤い体に、二本のはさみ、黒い目。
 これは、日本でも見たことがあります。
 小さな川で見ました。
 日本ではこの食材を食べることにあまり馴染みが無いでしょう。
 そう、この龍蝦・ロンシャーは
 ゼリガニ。
 中身はそこまで多くはないですが、思ったほど泥臭くなく、
 小さくて旨味のある蝦の味でした。





カウをばりばりと剥いて食べるので、
手袋をしながら龍蝦・ロンジャーを食す柳川さん。



龍蝦、美味しかったです。
ごちそうさまでした！

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.26 | [バナーリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 129, Shaoxing, China

[Tweet](#)

[Check](#)

引率 富田です。

先日まで滞在した紹興の街をご紹介します。

寄泊していた甯の周辺にも運河が流れ建のある風景が広がっているのですが、
観光地をすこし離れるだけでも見えてくるものは随分変わってきます。





途中、周恩来祖居に立ち寄りました。





鲁迅故里などの観光名所が集まった場所から30分程歩くと、昔から変わらない暮らしを続ける人々の生活がそこにありました。











post by 引率Staff | 日時: 2011.07.26 | [バナーリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月アーカイブ

11.07.25

Day 127, Beijing, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

中国 7 日目
7th day in China.

柳川さんが香港から北京に来ました。
さっそく南鑊銀巷付近を案内し、撮影に向けて情報収集。



柳川さん自身も今までFWを数ヶ月してきたの経験で、
おしゃれ通りにあるお店と音楽は間違いない情報があると分かっているようでした。



パソコンでブログアップなどの作業をする
小林さん、柳川さん。



小林さんの中国人の友人と夕食へ行ってきました。

日本で出会った友人と彼の自国で再び再会なんて、良いですね。



彼はとても明るい人で広東料理に連れて行ってくれました。

やはり地元の人に案内してもらると、
自分ではなかなか食べられないものを食べれてうれしいです。
ありがとう、楽しかったです！

満足げな柳川さん、小林さんの友人、小林さん。



中国語の言い回しを教えてもらう柳川さんと、
その風景を撮る小林さん。



常に日本語を勉強しているスタッフがいる。

常に帰ってから柳川さんは、彼女から撮影のための中国語を覚えてもらっていました。





そして翌朝、北京での日々を終えた小林さんがフフホトへ向け朝立って行きました。

いってらっしゃい！

西安でまた会おう！



カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.25 | [バーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.24

Day 127, Shaoxing, China

[Tweet](#)

[Check](#)



引率 富田です。

インド・ネパールを引率した丹下と交代し、
ここ中国では再び富田が引率業務を担当します。

現在私は堤さんと共に紹興という街にきています。

上海からバスで約2時間半。
その名の通り、街の名産品は紹酒、紹興酒です。

また、市内には縦横に水路が走る江南地方の水郷古鎮の一つであり、
中国を代表する文豪である魯迅や、
中華人民共和国の初代国務院総理（首相）を務めた周恩来を輩出した街でもあります。

今日はまず我々が宿泊している宿をご紹介します。

「老台門魯迅故里青年旅館」
青年旅館とはつまり、ユースホステルのことです。
全世界に点在するユースホステルですが、ここ中国にも数多くあります。
引率 富田です。

インド・ネパールを引率した丹下と交代し、
ここ中国では再び富田が引率業務を担当します。

現在私は堤さんと共に紹興という街にきています。

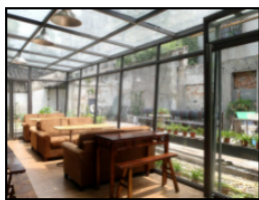
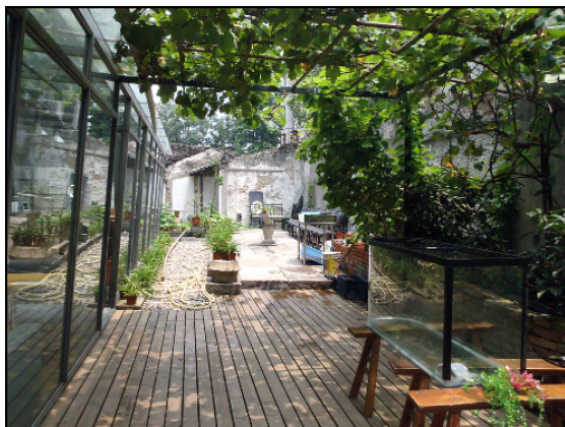
上海からバスで約2時間半。
その名の通り、街の名産品は紹酒、紹興酒です。

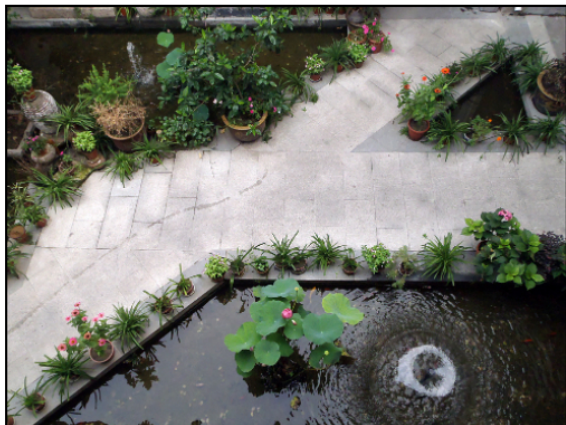
また、市内には縦横に水路が走る江南地方の水郷古鎮の一つであり、
中国を代表する文豪である魯迅や、
中華人民共和国の初代國務院總理（首相）を務めた周恩來を輩出した街でもあります。

今日はまず我々が宿泊している宿をご紹介します。

「老台門魯迅故里青年旅館」
青年旅館とはつまり、ユースホステルのことです。
全世界に点在するユースホステルですが、ここ中国にも数多くあります。

建物は古鎮特有の四合院造りでできています。
以前からの造りは活かしつつも、現代の生活を送りやすいよう改装されており、
素晴らしい空間に身を置きながら滞在することができます。





次回は紹興の街の様子をご紹介します。

post by 引窓Staff | 日時: 2011.07.24 | [バーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引窓ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 126, Beijing, China

[Tweet](#)

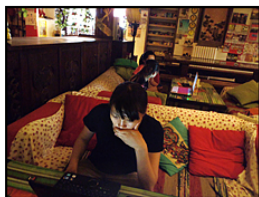
[Check](#) 引窓スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

中国 5 日目
5th day in China

ブログをあげる小林さんと隣で寝続ける猫。

ネットの繋がる公共スペースは暗めですが、快適に過ごしております。



夕方からはカンフーショーを見に行きました。

その名も「功夫伝奇 / レジェンド・オブ・カンフー」

紅劇場にてほぼ毎日絶賛公演中です。



チケット売り場と入り口にて。



中を覗くとまだ準備中でしたので、もう少し開演時間を待ちます。



香々、純一という少年がやさしい母に連れられて寺院に入りました。

純一に待っていたのは難しい鍛錬と修行の日々。

功夫伝奇は純一が様々な誘惑と乱心に耐え、鍛錬を重ね、最後には師の後を継ぐ僧にまで成長する物語を描いています。

純一と師匠の前で小林さん。





伝統的なカンフーと現代的なミュージカルの融合したショーです。



舞台ではカンフーの様々な技が披露されます。
「蛇拳」「蜘蛛拳」「猿拳」「豹拳」
木の棒を折ったり、鉄の板を頭でぶちまけて折ったりする技、
槍の先に眼輪を使って附える技も見るができます。

今回の来場者のほとんどは外国人だった為か
なんと英語での講演でした！

日本でやる大衆向け舞台が英語講演なんてありえるのでしょうか。



舞台の後は待望のコミュニケーションタイム。

主役はもちろん様々な技を披露してくれた役者と
たったの20円で記念撮影ができるのです！

外国人観光客たちは舞台の上で記念撮影をしておりました。



純一の師匠と僧たちと観光客。





純一の話をしてくれた老僧と少年僧、修行僧たちと観光客。



いろんな国の観光客たちが来ていました。



夕食は「木須肉飯」
レストランのおばちゃんから中国語で
「モーシーゾウファン」という名前だということを教えてもらいました。
キクラゲとキュウリ、卵、豚肉を炒めたものとご飯。
うまいです。
今のところこのレストランが宿の近くで一番です。





post by 引宝Staff | 日時: 2011.07.24 | [バナーリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引宝ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 125, Beijing, China

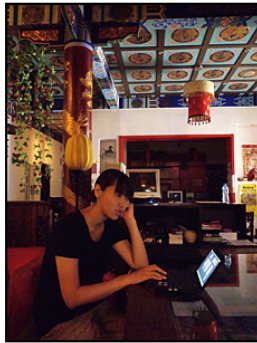
[Tweet](#)

[Check](#) 引宝スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 4日目
4th day in China.

宿はフートンの中にあり、駅近、スーパーや小さな商店も近くにあり、さらに安い中華料理も近くで食べれる為とても便利です。



昼食にでかけ、誘われるまま店に入って頼んだのがこの刀削麺と野菜の炒め物。

その名も「炒削面」

很好吃。

ボリュームたっぷりとても美味しいです。
明日も食べに行きたいと思います。



畜から歩いて、おしゃれな通りの南鑊鼓巷を越えて、右へ曲がって行ったところに后海という池があります。

この周辺は最近おしゃれなカフェや雑貨屋さん、バーが多くできている場所です。

そこにあった味のある店構えのスターバックス。



什刹海





やはりかなり開花が進んでいるようで、
道も綺麗に整備されて至る所で工事をしています。



鐘樓に行ってきました。

故宮、景山公園からまっすぐに来て、
突き当たったところにあるのがこの鼓樓と鐘樓。

明・清の時代に夜の時報を知らせる為に鐘と太鼓を108回打ち鳴らした場所です。



急な階段を上って台の上へ向かいます。



周囲の他のどの建物よりも高いため、見晴らしがよく街並みを楽しむことができます。



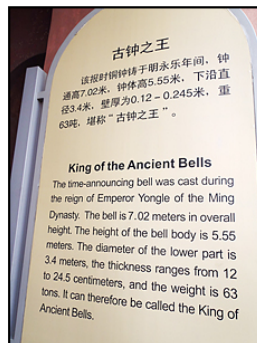


鐘の前にて、言葉が通じ難いながらも親身に案内してくれた警備員さんと小林さん。

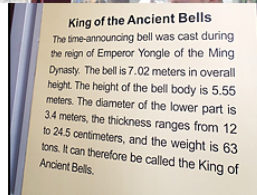
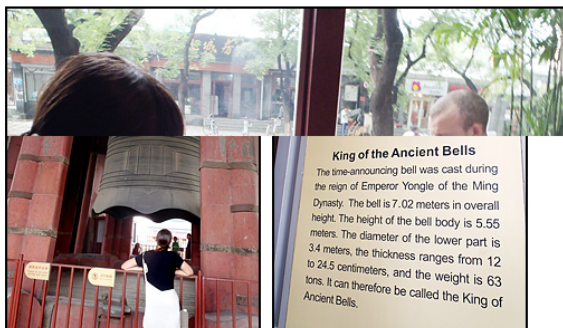


なんとこの鐘、63トンもあるのです。

どうやって上まであげて吊るしたのでしょうか？



なぜか外国人が多く集まるおしゃれなカフェで、香港にいる柳川さんとスカイプをする小林さん。



なぜか外国人が多く集まるおしゃれなカフェで
香港にいる柳川さんとスカイプをする小林さん。



立地がとても良く、知名度も高いため食べにくる人がたくさんいます。

30ほど待つ森上さん、原さん。



前菜をいくつか食べた後、待望の北京ダックが出てきました！

待ってました！

* 前菜の量が多かったのであまり食べ過ぎると
本番の北京ダックがお腹に入らないかもしれないのでご注意ください。

この北京ダックをさばいて小分けしてくれる人が
ダックを綺麗に盛ってくれます。



北京ダックをさばく姿の写真を撮る、原さん、森上さん。



パーピンという薄い皮に甜麺醤を付けたダックを巻いて白葱を巻いて食べます。

うまし。很好吃！

北京で北京ダック。

しかもこの量を自分で巻いて何個も食べれるなんて幸せすぎです。

北京ダックは至福の時間をくれるものですね。



お店の前にて、満足した原さん、ダック、森上さん。



王府井にあるオリンパス楼。

費用のOLYMPUS Tough TG-310と森上さん、原さん。

いつもありがとうございます。



カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.24 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 124-02, Chengdu to Beijing, China

[Tweet](#)

[Check](#)引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

中国 3日目
3rd day in China.

成都から北京まで2時間30分。

上空は常にガスっており、北京の空港近くになったらさらに視界は悪化。
もはや雲の中を飛んでいるかのようでした。
これが気候の影響なのか、黄砂か、現代中国の発展の影響なのかは分かりませんが、
地上に書いても視界の50m先、高層ビルの先はかなり霞がかっています。

なんなのでしょうか？



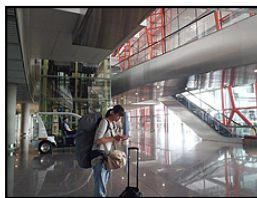
北京空港はもの凄く綺麗です。

市内中心部へのバス乗り場へも、案内がとても分かりやすいの裏に辿り着けます。



一人16元。

西単まで向かいます。



西单行きのバスと小林さん。



案内には100分と書いてありましたが、今回は1時間弱で到着しました。

降りた場所には地下鉄1号線が走っていて、それに乗り寄り予定先を目指します。



地下鉄は1回2元、電子カード式。





混雑時は東京のラッシュ時のように混雑するらしいですが、
通常の時間でもこの人の数。
乗降客が入り乱れ、乗るや、降りるの大忙しです。



ちなみに地下鉄に入る時はこの、X線安全検査を通過しなければなりません。



審に向けひたすら歩いて探しまわる小林さん。



汗だくになりながら審を目指して
フートンの中に入って行きます。



しかし、満室のため他の審をさがすことに。



新たな市に空き室状況を確認後、運良くつかまったタクシーに乗り、無事ホテルにチェックインすることができました。



北京の日々の始まりです。

post by 引室Staff | 日時: 2011.07.24 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) カテゴリ:

海外フィールドワーク引室ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 124-01, Chengdu to Beijing, China

[Tweet](#)

[Check](#)引室スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

中国 3日目
3rd day in China.

この日から中国の取材期間が始まりました。

中国という環境がインド・ネパールとの違いを大きく感じさせ、
それらの土地を越えてきたのが違い音のように思います。

また新たな旅が始まります。

まだ日も出ぬ早朝、鈴木くんが九寨溝へ。

そして、次は柳川さんが香港へ。

富田先生と見送り。



いってらっしゃい！

百万ドルの夜景を独り占めしてきてください！



外は少しずつ朝が始まってきました。

何の原因が分かりませんが、
今の時期の成都は常にこう霧がかっているのでしょうか。



次は森上さんが北京へ向け出発。

富田先生、原さんを見送り。



森上さん、行ってらっしゃい！

北京で北京ダック食べて満足してください！



そして、展望レストランにて朝食。

朝食の時間が始まると同時に入ったからが、団体客が多く泊まっているから分かりませんが、レストランには大勢の人、人、人。

料理も一瞬でなくなり、座る席もありませんでした。

そんな中確保した席が、この外を見ながらの特等席。

と思いきや、このレストランは回ります。360度回転式展望レストラン。床だけが周り、外の枠や窓は固定されたまま。それが意味することは、おちおちお皿を棒に置いてたら、置き去りにしてしまうため常に持っている必要があるということです。

さらに、食べながら床が横に少しずつ動いているので、ちょっと酔いそうでした。

料理は他の客との争奪戦、自分のお皿は行ったり来たり。

少し忙しい朝食ではありましたが、これも一興。景色も窓がってよく見えませんでした、良い眺めでした！





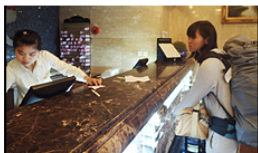
人がたくさん利用する時間の為、なかなか乗れないエレベーターを待つ
小林さん、清水さん、堤さん。



中国語の会話帳を使って



中国語の会話帳を使って



中国語の会話帳を使って





中国語の会話帳を使って



中国語の会話帳を使って
「空港までお願いします。」
とさっそく中国語を駆使する堤さん。



成都の空港へ向かう富田先生、清水さん、堤さん。



成都の空港にてチェックインをする
小林さん、清水さん、富田先生、堤さん。





富田先生、堤さん、清水さんは進化し続ける街、上海へ。

小林さんとはここで暫しの別れ。

紹興、上海楽しんで来てください！



搭乗時間を待っていると、そこに現れたのは高野くん。
後はこれから昆明を離れ、香格里拉(シャングリラ)へ向かいます。

3人で話すこと数十分。



ここにて高野くんとは暫しの別れ、広州にてまた会いましょう！

松茸パーティーしてください！





境内にて何気なくとった新聞に女子サッカーワールドカップ優勝の
なでしこジャパンの記事が大々的に載っていました。

うれしいですね。

こんな嬉しいような表情をしているのを見るとこっちまで嬉しくなります。

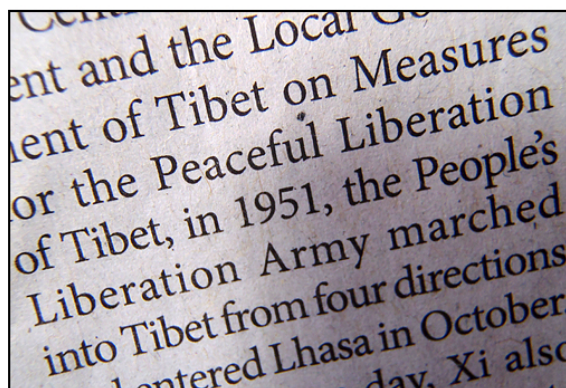
ありがとう、なでしこジャパン。

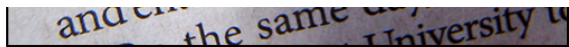


そして、境内食。



新聞にはチベット解放50周年の記事も載っていました。
なんと興味深い記事でしょうか。





もうすぐ我々も北京に入ります。

post by 引宝Staff | 日時: 2011.07.24 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引宝ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 123-02, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引宝スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国2日目
2nd day in China.

あなたは四川省成都と聞いて何を思い描くでしょうか。

パンダ？ 四川料理？ 香辛料？ 蜀？ 劉備？

豆腐？

そうです。豆腐。

ここは麻婆豆腐発祥の地。

陳麻婆豆腐店へ行ってきました。



ホテルを出て道を渡り、右に少し行ったらバス停があります。



ぎゅうぎゅうすし詰め状態の98番バスに乗り、3つ目のバス停まで。

2元。



3つ目のバス停のほぼ向かい側あるため、また道を渡ります。





ここが陳麻婆豆腐店です。





くっくつと煮える鍋からは山椒の良い香りがあがってきます。
 熱い豆腐を口に頬張れば、そこからは旨味と豆腐と山椒と。
 これぞ麻婆豆腐と言わんばかりの本格的味に刺激されます。

辛いもの好き、山椒好きにはたまらないこの一品。
 まさに旨からな料理でしょう。



「辛いけど美味しい！」

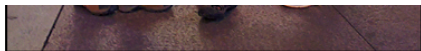
そして、思っていたよりもはるかに安い！

成都に来たらぜひ陳麻婆豆腐へ。



夜も明るく賑やかな春熙路歩行街にて、キメ顔とキメポーズをする
 清水さん、高野くん、小村さん。





成都で買い物するならここでしょう！



明日からは中国取材期間の始まりです！

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.24 | [バナーリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 123-01, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 2日目
2nd day in China.

柳川さん、原さん、森上さんと成都のパンダ基地
[成都大熊猫繁育研究基地](#)に行ってきました。

朝食はホテル30階の中華ブッフェ。
見晴らしが良くて、なんとこの展望レストラン。
回るんです！
ゆっくりと床を回るので、景色を楽しみながら食事できます。



バスでも行けるらしいのですが、タクシーにて。

最近の中国では電動バイクのトゥクトゥクをよく見かけます。
とても静かに滑らかに走ってるので、きっと乗り心地は良いのでしょう。
ただ静かすぎて気づかないときがありますので、道を歩く時はご注意ください。



成都の中心からたったの10kmの距離にあるため、
ホテルからタクシーで30分もあれば到着します。

成都大熊猫繁育研究基地の入り口。





大人1人58元。



大人1人58元。



大人1人58元。

门票 Ticket Details	
票种 Ticket Type	票价 Price
全票 Adult	¥58.00
半票 Half Price Ticket	¥29.00
中小学生团体 Chinese Student Groups	¥29.00

1. 购买中小学生团体票需出示学校证明和全票。
2. 离休人员、残疾人、现役军人凭有效证件免费入园。
3. 身高1.2米以下儿童免票，身高1.2米以上儿童半价入园。



とても暑いうに広くて、歩くのが大変です。

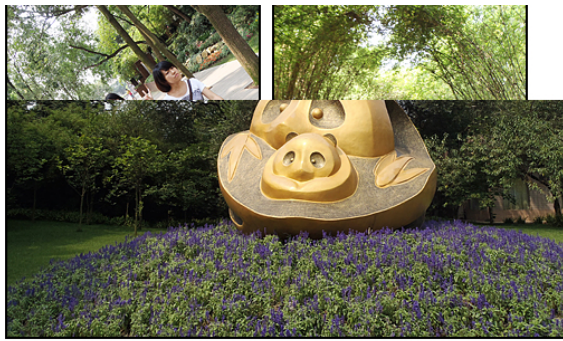
熊のトンネルをくぐってパンダ室を目指します。



とても暑いうに広くて、歩くのが大変です。

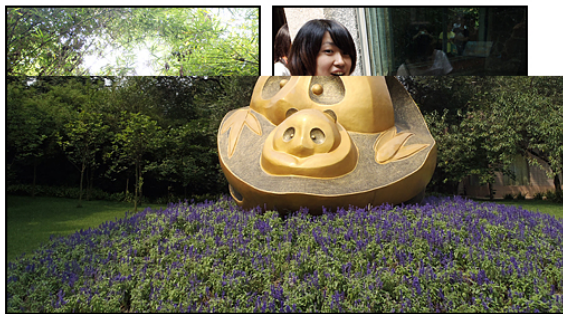
熊のトンネルをくぐってパンダ室を目指します。





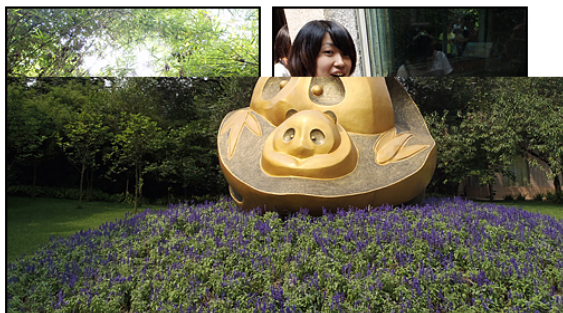
最初はパンダ14号別舎。

あまりのパンダ14号のにくらしさに感嘆の表情をする柳川さん。



最初はパンダ14号別舎。

あまりのパンダ14号のにくらしさに感嘆の表情をする柳川さん。



最初はパンダ14号別舎。

あまりのパンダ14号のにくらしさに感嘆の表情をする柳川さん。



小熊猫ことレッサーパンダ。

鼻さでうなだれていました。



小熊猫ことレッサーパンダ。

暑さでうなだれていました。



観光客がたくさん来ます。

中にはパンダマンチャクで遊ぶ子供たちも。



そのかわいさ、にくらしいくらいです。



観光客がたくさん来ます。

中にはパンダマンチャクで遊ぶ子供たちも。



そのかわいさ、にくらしいくらいです。





そして、パンダ1号舎。

ここが一番奥まったパンダ舎で暑さの中進むのは大変でしたが、最も観光客が少なく、ゆっくりパンダを鑑賞することができます。



1匹は自らの役割を分かっているように、我々の前で歩いたり、転がったり、かわいさを振りまいていました。

にくらしいことこの上なし

かわいいです。以外に細身であることを確認しました。



1匹は自らの役割を分かっているように、我々の前で歩いたり、転がったり、かわいさを振りまいていました。

にくらしいことこの上なし

かわいいです。以外に細身であることを確認しました。



一番仕事してくれたパンダの前にて

義上さん、柳川さん、パンダ、風さん。





カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.24 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)



カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.24 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[海外フィールドワーク引率ブログ2011](#) > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25

成都の空港からホテルへ向かいます。



[海外フィールドワーク引率ブログ2011](#) > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25

成都の空港からホテルへ向かいます。



[海外フィールドワーク引率ブログ2011](#) > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25

成都の空港からホテルへ向かいます。



[海外フィールドワーク引率ブログ2011](#) > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25
成都の空港からホテルへ向かいます。



海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25
成都の空港からホテルへ向かいます。



海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25
成都の空港からホテルへ向かいます。



海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25
成都の空港からホテルへ向かいます。



海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25
成都の空港からホテルへ向かいます。



海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 122-03, Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です

Tokuda,

中国 1 日目
1st day in China.

日本との時差は 1 時間。

19:25

成都の空港からホテルへ向かいます。



車内では富田先生が中国の説明。
ガイドのタさんからは成都の説明をしていただきました。

タさんの成都の話を聞くとなんだかとても
食べ物おいしそうに、景色はもっと綺麗に、環境はもっと良く聞こえます。
名ガイドですね。



ATMからさらに先へ進み歩道橋を渡ったところに
とても賑やかな春熙路歩行街という歩行者天国があります。
その近くに皆で夕食へ。



以前の反日運動の中心になった場所らしいですが、
今ではとても明るくて、賑やかで、ここでも猛烈な都市の勢いを感じます。

完全な都会です。



以前の反日運動の中心になった場所らしいですが、
今ではとても明るくて、賑やかで、ここでも猛烈な都市の勢いを感じます。

完全な都会です。





以前の反日運動の中心になった場所らしいですが、
今ではとても明るくて、賑やかで、ここでも猛烈な都市の勢いを感じます。

完全な都会です。



このレストランで夕食にすることにしました。



メニューは中国語で、もちろん店員さんも中国語。
言葉がこんなにも通じない環境は久しぶりです。



メニューは中国語で、もちろん店員さんも中国語。
言葉がこんなにも通じない環境は久しぶりです。



メニューは中国語で、もちろん店員さんも中国語。
言葉がこんなにも通じない環境は久しぶりです。



メニューは中国語で、もちろん店員さんも中国語。
言葉がこんなにも通じない環境は久しぶりです。



メニューは中国語で、もちろん店員さんも中国語。
言葉がこんなにも通じない環境は久しぶりです。



四川料理と言えば辛い料理。

ここで注文をした料理も辛いものが多かったです。

みんな汗をかきながら成都最初の四川料理を楽しみました。



四川料理と言えば辛い料理。

ここで注文をした料理も辛いものが多かったです。

みんな汗をかきながら成都最初の四川料理を楽しみました。



四川料理と言えば辛い料理。

ここで注文をした料理も辛いものが多かったです。

みんな汗をかきながら成都最初の四川料理を楽しみました。





14:40

ラサの空港に到着するが、悔しくも今はラサの市街に行くことはできないのです。

拉萨という文字。

これだけで心を満たすことは難しいですが、

飛行機を降りて入国の手続きを始めます。



14:50

入国審査。



15:20

入国審査後、手荷物検査。



15:20

入国審査後、手荷物検査。



15:20

入国審査後、手荷物検査。





15:20
入国審査後、手荷物検査。



15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。



15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。



15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。



15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。





15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。



15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。



15:25
そして、成都行きチケットの搭乗手続き。



15:00
再び機内食の登場。

今度はカトマンズーラサのあっさりスナックよりも見た目からして期待ができます。

中国と言えはつまみ菓子。
ピーナッツとドライフルーツのお菓子を待つ柳川さん。





19:15

飛行機が遅れたため長い時間待っていた
富田先生とガイドさんに出迎えていただきました。

お久しぶりです！



中国入国に很好きな学生たち。

柳川さん、埴さん、轟上さん、鈴木くん、風さん、小林さん、清水さん。



赤いタキシードを着たパンダの時計で時間を確認しつつ、
よく見るお腹を出したおっちゃんの横を通りながら、
駐車場に止まっているバスまで3分ほど歩きます。





さあ、いよいよFW5 第10カ国目の中国が始まりました！

ニーハオ！

富田さんまたよろしくお願いします！



post by 引率Staff | 日時: 2011.07.24 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.23

Day 122-01, Kathmandu to Chengdu, China

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

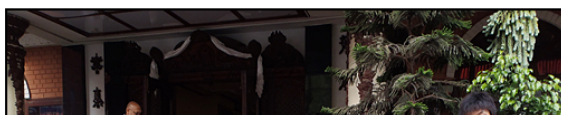
ネパール 15日目
15th day in Nepal.

ネパールから中国への出国日。
インド・ネパールを引率した丹下さんともこのカトマンズでお別れです。

7:30
ホテルのロビーに集合。



小林さん、高野くん、見送りに来て頂いたアショカさん、丹下さん、
清水さん、堤さん、森上さん、風さん、柳川さん、鈴木くん





8:00
ホテルから空港まで約20分。
アショカさんと暖かな握手をする森上さん。



アショカさんと握手をする堤さん。
空港に入る時はチケットとパスポートのチェックが必要です。



アショカさんに手を振る皆。
フェリ・ベトナムラック！
今年も大変親身にガイドを頂き本当にありがとうございました！



8:10

成都行きチェックイン。

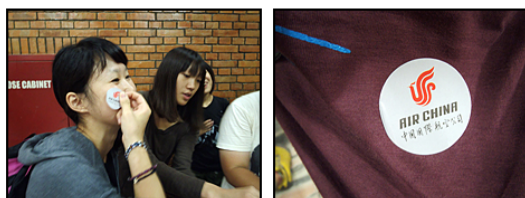
このカトマンスー 成都間の移動は一旦ラサにて入国手続きをした後、
再度飛行機に乗り成都を目指すルートになっています。

カウンターがラサ行くと、成都行きに別れているため、
我々は成都行きカウンターへ。



AIR CHINAのシールを体の見える部分に貼ります。

おそらく係員がこれを見て、
ラサに行く人、成都に行く人の見分けをするのでしょう。



手荷物にはこの緑のタグを忘れずに。



8:25

チェックインを済ませた後はエスカレーターに乗り2階へ上がります。
そこには出国カウンターがあるので出国カードを記入。



イミグレーションに並ぶ原さん、森上さん、堀さん、丹下さん、柳川さん。



8:43

出国を無事終え待つ

原さん、森上さん、堤さん、柳川さん、丹下さん、清水さん、鈴木くん、高野くん。



8:45

手荷物検査。

ここは男性レーン、女性レーンに別れています。

男性レーンのほうはタイミングによってはとても混みますので、

やはり余裕を持って行動したほうがよさそうです。



9:05

丹下さんの日本帰国への長い道のりの飛行機の方が

我々の成都行きの飛行機よりも早く出発するため、

ここで丹下さんとは日本まで暫しの別れ。





9:30
別れの握手。

丹下さん、清水さん、高野くん。



丹下さん、柳川さん、鈴木くん。



丹下さん、原さん、堤さん。



丹下さん、小林さん、森上さん。



インド・ネパール41日間の熱く濃密な引率ありがとうございました！

日本で再びお会い出来る日を心より楽しみにしております。

見送る学生たち。



写真左：最後に手を振る丹下さん。
さようなら！

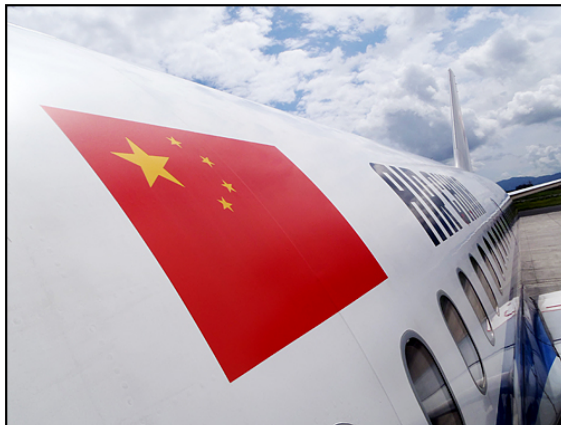
10:15

写真右：我々もうけ行きの飛行機へ。





さあ、もうすぐで第10カ国目の中国です！



11:20
あのアナウンスが聞こえてきました。
機長より。



「今、左手にヒマラヤ山脈のエベレストが見えています。」

そう、あの世界最高峰のエベレストがこの目で
飛行機の飛ぶ高度に見えているのです。





すかさず左側の座席に移動し、最も神々しく高高い山の一つ、エベレストを拝みました。

高い。

高すぎます。

雲の高さよりも突き抜けるその山々は時をそのまま凝結したようです。寒さと白い雪、かつては海だったその大地は現在型にあるのです。極限の環境にこそ時をも凝結させる力があるのでしょうか。

一体どんな人間になればあそこ先鋒に立つことができるのでしょうか。

空の上。

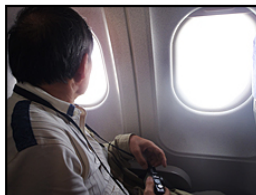
まさに神の域。



感動しました。

快く隣に座らせてくれて、エベレストを教えてくれたおっちゃん、ありがとう。

もし、あの先鋒に自らの足で登ることができたら
その時こそ世界の見方が変わるはずです。



11:30
その後、機内食が届き期待しながら開けたわりに
あっさりしたバーガーだったため
思わず笑ってしまう高野くん、堤さん。





大地はネパールからチベットの土地に入りました。



もうすぐうサです！

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 121, Nagarkot, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ネパール 14日目
14th day in Nepal.

FW1でネパールに来た時に写真展を行ったナガルコットへ
どうしてもあの時の感謝と当時のメンバーの想いを伝えたくてナガルコットへ行ってきました。

カトマンズからバクタプルへ。

バクタプルからナガルコット行きのバスに乗り換えて約2時間。

FW4 高橋さん、FW5 椿くん、遠藤くん、谷本さん、
以前徳田のお願いを聞いてくれて、
写真集を持ってナガルコットの雲海リゾートへ行ってくれて本当にありがとう。



5年ぶりにナガルコットに来ることができました。
この機密を見るだけでも感慨深いです。

「NAGARKOT」



写真展 1日目はここバス停にて。



大寒お世話になったラムさんのレストラン。
彼は今ニパ庭ロッジのドライバーになっているそうです。



写真展 2日目のニパ庭ロッジ。





そして、雲海リゾートへ。

まさに雲の中に浮かんでいるようです。



連日の写真展への慰達の作業を続け、食事をした場所。



雲海リゾートのたみさんとも会うことができました。

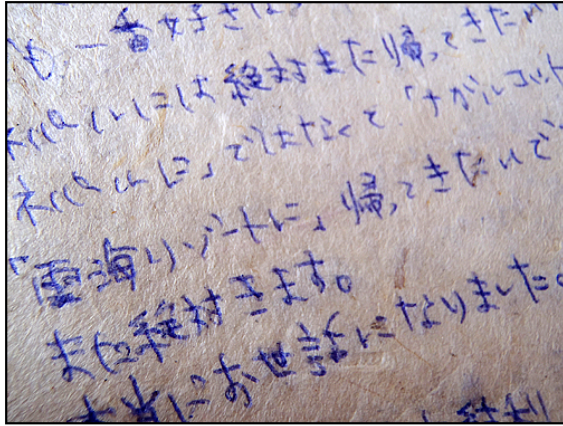
全ての写真が懐かしく、思い出が湧いています。



写真展3日目のヘルスポストにて。

田原、谷本、宮澤、山口ゆ、ドクター、紺野、徳田。





サンディーくん。
日本に住んでいたため、日本語が格段に上手くなりました。



そして、思い出のウメちゃんに会いに
ナガルコットから少し下山し、テルコットへ。





たまたま会った日本語を話す少年に案内してもらい、
どこからともなく来た犬と一緒にトウモロコシ畑をめぐり、
村人に挨拶し、大きな木を目指して行きました。



そこにいたウメちゃん。
結縊してました。



そして、日本語も英語も上達していたウメちゃんの案内で
ドクターに会いに雲海リゾートの橋の道をひたすら下ります。



山道は畑や家が増え、森が少なくなった感じがしますが、
相変わらず景色が綺麗です。



写真展3日目のヘルスポスト。





あの時会った村の人にも会えました。



「フォト・キチュ・フンチャ？」



ドクターにも再会。

完全に「あの人に会いたい or あの人をさがして」です。



ドクターには第2子が生まれていました。





村の子供たちとドクター。

「フォト・キチェ・フンチャ？」





村人の中には当時の写真を、額に入れて飾ってくれている人がいました。
感しすぎます。

雲海リゾートの隣の松葉杖を付いていた少年は

今も村で暮らしているそうです。



FW1ネパール・ナガルコット写真展の皆さん、
感謝の気持ちは確かに伝えてできました。

ナマステ。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [バナーリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 121, Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)引率の丹下です。

ネパール（カトマン

ズ）の最終日。

41日間のインド・ネパール引率も早いもので、本日で終了します。

明日、学生達は中国へ、私は成田へ向かいます。

6月8日、成田を出て学生達の居るマレーシアへ、初めての引率、久々の海外...

今になって言えば、初の海外フィールドワーク引率は、私にとって緊張と不安で一杯でした。

マレーシアでは
そんな私をときりの笑顔で歓迎してくれた学生達を見て「ホッ」とした事を、
買ったお土産を全員が喜い合うほどに喜んでくれた事を、
つい昨日の出来事のように思い出します。

インドに入り

猛烈な暑さ、異臭、騒音、汚染された空気、人、人、人...

街を歩けば両腕のない人が物乞いをしていた、
目の見えない父親のとなりでは、子供が泣いていて、
悲痛の叫び声がする病院の隣で、子供たちが無邪気に遊んでいて、
日本では想像もしていなかった世界を目の当たりにし、衝撃を受け、
これから先、ここインドでどうなるのか、またまた不安に感じました。
そんな不安を解消してくれたのもこのフィールドワークの学生達でした。
大きなバックパックを背負い、英語やジェスチャーでコミュニケーションをとり、
撮影を続け、そして悩み、それでも前に進み...

そんな日々の中から、一人ひとりが成長を感じさせる後ろ姿を
見させてもらった時だったように感じます。
ネパールでは、現地の日本語学校との交流もあり、様々な人々と
素晴らしい出会いがありました。

5期生の皆さん本当にありがとうございました。
日本語学校の先生、生徒の皆さん、写真展等でご協力いただいた方々、
ゲストハウスの皆さん、そしてご来場いただいたすべての人々...
私の生涯で決して忘れる事のない出会いを沢山与えてくれました。
心から日本を好きだと言ってくれるネパールの人たちに
私は、そんな彼らのイメージする日本人に値するだろうか？
と考え、悩む日々もありました。

でも、そんな彼らのイメージする素晴らしい人間に私も成長し、
またいつか必ずここに帰って来よう。
今、そう感じています。

学生達もこのインド・ネパールでは、私以上に様々な出来事があったことと思います。
一人一人がその体験の中で、悩み、苦しみ、考えるきっかけになった事と思います。
自由な一人旅では味わうことのない、グループだからこそ感じるストレスや
プレッシャー、それでもこの日々が生涯の宝になっていったものと思います。
このメンバーに改めて感謝の気持ちを伝えたい。

そして彼ら8人の成長をもっともっと見てみたいと感じています。
最後に、このフィールドワークをサポートしていただいている様々な企業の皆様、保護者の
皆様、このフィールドワークプログラムにエールを送りいただいた皆様、フィールドワー
クの卒業生の皆さん、講師の先生方、学校関係者...心から感謝申し上げます。
彼らが元気に帰国し、次は日本で再会できる事を楽しみに明日、成田に向かいます。





カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 120, Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ネパール13日目
13th day in Nepal.

熊倉局長のお話によるとFW4の時に、
指定泊ホテルにこのいい雰囲気のレストランができたそうです。

朝、ゆっくりと朝食をとる丹下さん、清水さん。
Mr. Tange and Shimizu having breakfast.

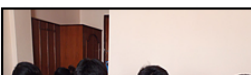
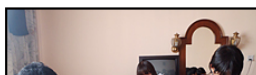


ネパールの集合日。
The gathering day in Nepal.

とうとう第10カ国目の中国へ向けブリーフィング。



この次の国へ向けての全体で読み合わせるブリーフィングも
今回の中国で終わりです。
This briefing was the final briefing.



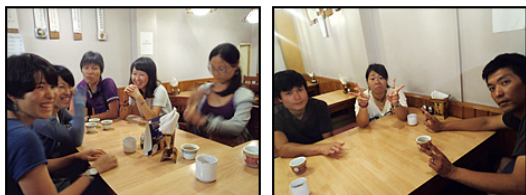


夕食はボカラで何度もお世話になった日本会レストラン「桃太郎」へ。
We went dinner to Momotaro.



丹下さんと学生の日々も賑りわずとなりました。

思い出話に花を咲かせる皆。



ボカラよりも値段も安く、品数も豊富。
カトマンスへ来たらぜひ桃太郎へ。
Kathmandu's Momotaro is cheaper and more variety food than Pokhara's one!
You should go to Momotaro when you are in Kathmandu!



カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [バナーリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月アーカイブ

Day 119-02, Bhaktapur, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

ネパール 12日目
12th day in Nepal.

カトマンス到着後、バクタブル写真展覧会に同行してバクタブルへ行ってきました。

バクタブルは [【Bhaktapur Japanese Language Institute】](#) 以下(BJLI)
に大変厚く協力をして頂いていたようです。
ありがとうございました。





カトマンスからバスに乗り約40分。

バスの車内、森上さん、鈴木くん、柳川さん。



バス停で降りて、池の横を過ぎて行き、



町を少し進んで行くと、



入り口のゲートがあります。

バクタブルは世界遺産に登録されており、市内中心部に入るだけで入場料の1100Rsがかかります。私が購入した通常のチケットだと1週間有効らしく、再度訪れる時は忘れないようにしないといけません。もし忘れたら、また1100Rsを払わないと中に入れませんので。

チケット売り場もいい感じです。



バクタブル班が写真展を行った場所は本当に世界遺産のど真ん中。

こんな場所で自分たちの写真を展示出来るとは、なんて幸せなんだろう。



バクタブル班の通い詰めたシヴァ・ゲストハウスのレストランにて
森上さん、鈴木くん、柳川さん。



BJLIのブルナ先生も含流、丹下さん、森上さん、柳川さん、鈴木くん。



BJLIで日本語を勉強している美男子のアニル。

彼らの間の挨拶は握手をした後、肩を合わせるのが通例らしく

その挨拶をする森上さん、柳川さん。



鈴木くん、丹下さん。



丹下さん、フルナ、柳川さん、森上さん、アニル、鈴木くん。



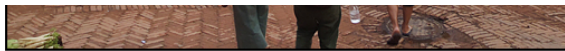
日本語学校を後ろに一枚。



パクタブルの町を少し案内してもらいました。

赤いれんが造りが印象的なとても綺麗な雰囲気のある町並みです。



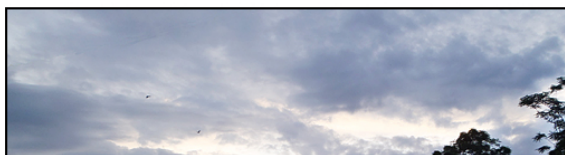


5重の塔。



焼き物工房。

行った時は焚いていませんでしたが、
タイミングが合えばモクモクとしているそうです。





このビルにもBJLの学校があるようで、
この日は教室で先生たちと日本の歌の交流会をしました。



日本語の先生たちと森上さん、柳川さん。



ブルナと昂。柳川さんと卒業写真。



鈴木くんと明日があるさ。



森上さんと先生のデュエット。



鈴木くんと明日があるさ。



森上さんと先生のデュエット。



鈴木さんと明日があるさ。



森上さんと先生のデュエット。



post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [バナーリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 119-01, Pokhara to Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda,

ネパール 12日目
12th day in Nepal.

我々3人もとうとうボカラからカトマンズに向け出発。

快晴とまではいきませんが、まずまずの天気。
無事飛行機が飛びそうです。



原さん、堀さん、雷のモモタ、タクシーのおちゃん。

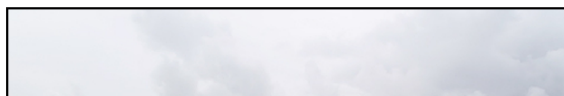
最後にお世話になったモハンには会えませんが、
ヒマラヤンゲストハウスには大変お世話になりました。

ダンニャバード！ フェリ・ベトナムラック！



空港のレストランにて朝食。

もし時期が良くて晴れば、このレストランから山並みが一望できるそうです。





お土産物を買いながら出発を待つ原さん、堤さん。



お土産物を買いながら出発を待つ原さん、堤さん。



飛行機に向かって走る原さん、堤さん。



無事一番良い席を確保することに成功しました！

我ながらがめついですね。

さあ、山は最後に姿を現してくれるのでしょうか！



遠くに見えるはヒマラヤの山並みでしょうか。

ああ、この日がどれだけ快晴であってほしかったことが。
 まっと山が見えたら驚えるほど感動するのでしょう。
 しかしこれでも十分に綺麗。
 ありがとうボカラの山の神々。

かろうじて見える山脈に心を留らせて過ごすこと30分。



安定飛行の中無事カトマンズへ戻りました。



国内線空港からタクシーを目指す原さん、堤さん。



堤さん、ドライバーさん、原さん。

ナマステ。





久しぶりに指定泊ホテルへ戻り、パクタブル班と再会しました。

堀さん、鈴木くん、原さん、丹下さん。



ネパール滞在も後少しで終わりです。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 118, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ボカラ11日目
11th day in Pokhara.

ボカラでの日々を終えた清水さん、高野くんがカトマンズへ。
Shimizu and Takano went back to Kathmandu.



ボカラ11日目
11th day in Pokhara.

ボカラでの日々を終えた清水さん、高野くんがカトマンズへ。
Shimizu and Takano went back to Kathmandu.





手を振る高野くん、清水さん。
Goodbye Pokhara!

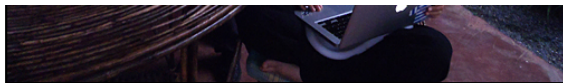


写真右：ネパールのこの緑色の運行では
400Rsの手数料がかかりますが、35000Rsまでおろすことができます。

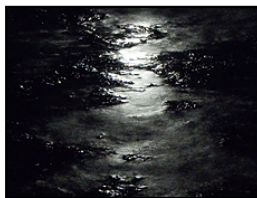


スカイプをする場さんと、話しかけるモハン。
Tsutsumi was talking on Skype with Mr. Mohan.





この日の夜は久しぶりの長い雨がポカラに降っていました。
雨のポカラもやはり良い。
This night was raining but I like rainy day of Pokhara as well.



ポカラ最終日も終わり、我々も明日カトマンスへ向かいます。
The last day of Pokhara finished. We are going back to Kathmandu.

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.23 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.14

Day 117, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ポカラ10日目
10th day in Pokhara.

ポカラへ来た時よりも空の機嫌は大変良いようで、
この日の朝も雲の切れ間からマチャプチャレの先鋒が見えました。



前日の快晴とは打って違って天気は曇り。
少し雨が心配ではありますが、
サランコットにも勝るとも劣らない景色の良い場所、
フォクシンへ出かけられました。

ガイドブックにはフォクシンの紹介文のみが記載されているため、
それに沿って歩き始めます。

ホテルから出発し、ダムサイドを越え、
田んぼのあぜ道をひたすら真っすぐ行き、
ガンダキ川へ行く左方向の道を下ります。



すると、この吊り橋が見えてくるので
揺れるし、長いし、下は遠くに見えるので少しおっかないですが
ここからのガンダキ川の景色は良いです。





ガンダキ川の吊り橋を渡り終えると、
左に続く道があるので、その道を道沿いに進み階段を登ります。

ここまでの道は少し分かり難いですが、ここまで来ればもう大丈夫。
道は一本しかないのでひたすらその道を歩いて行けばフォクシンに辿り着けるはずです！



後ろを振り返ると、空から落ちる雨の木がホテル方面にできていました。
あの雨の木がフォクシン方向へ来ないことを祈りながら歩を進めます。



天気はどん曇り。
景色は最高の山並みと棚田。
雨がいつ降ってもおかしくない雰囲気、一つの谷間へ出ました。

老夫婦が農作業していて、おじいさんは青い傘をさしながらじっと座っています。
谷からは滝のような、沢のような轟々とした音が響いていました。

よく見てみると、そこには一つの隠。
白いもやが少しずつ近づいてくるではないですか！

雨だ。

雨の境が谷の間から霧々と水を誘えて向かってきていました。



雨の境をひたすら急ぎ、小屋へ避難。

おばあちゃんに
「フォクシン・カハンツァ？」フォクシンはどちらですか？と聞くと、
「ウッタ。」
自分たちが今来た道を指しました。

どうやら知らずの間に通り過ぎてしまったようでした。

一緒に雨宿りをするおばあちゃんと少年を撮影する清水さん。



雨脚も落ち書き、再出発。

ちょうど田植えの時期で、棚田がとても綺麗です。



山向こうの棚田を撮影する清水さん。





そしてバスが山の上から向かってくるが、乗って帰る選択肢をやめ、道沿いにひたすら下って小川を渡りました。

ここまでで出発してから5時間あまり。
冷たい小川が疲れた足を休ませてくれました。



行きとは違う道で下山した為、河を渡るのも吊り橋ではなく
手作り感溢れる橋になりました。
思ったよりしっかりとしています。



フェウ湖まで戻るとそこからはボートにてホテル方面へ。

ボート乗りのおちゃんと三人でこぎ続けること30分間。



ボート乗りのおちゃんと、清水さん。





出発してから約8時間。
常に毒くそこには、うっすら見えるマチャブチャレと虹！

ボカラの日々も終わりに近づき、ボカラは我々に特別な景色を見せてくれました。



ボカラに来た時はぜひサランコットとフォクシンへ。

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.14 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.13

Day 116, Bhaktapur, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)ネパール・カトマンズ
から引率の丹下です。

本日写真展を開催したバクタプルからカトマンズに移動をしてきました。

明日はここカトマンズで全員集合します。

写真展を終えた皆さんが何を感しているんだろう？

とても楽しみです。

さて...

私たちのためにBhaktapur Japanese Language Instituteの
先生・スタッフの皆さんが写真展の打ち上げをしてくれました。





手作りの素敵なお土産までいただきました。



本当にありがとうございました。
人の優しさや温もりを沢山いただいて、
私たちを心から歓迎してくれた
Bhaktapur Japanese Language Instituteの皆さん
本当に心から感謝です。
12日は、丹下、柳川、鈴木、森上の4人はナガルコットに行くことにしました。
(小林さんはバクタプルで撮影)



今回の宿泊でお世話になっているシバゲストハウスのコックをしているアニルさん
(大学生であり、日本語学校の生徒さんでもあります。)が
「皆さんはナガルコットに行った事がありますか？」と日本語で聞いてこられて
「ないです。行きたいです。」と答えたら
「ぜひ案内をしたい」という事になりました...
アニルさんのお仕事が休みの12日、ナガルコットに連れて
行ってもらいました。



バスに揺られる事、約1時間。そこから歩いて
片道約2.5キロ、ようやく頂上の展望台へ
快晴ならこの山の向こうに地球上で最も高い8000m級の
ヒマラヤ山脈が見えるらしいのですが、
今日は残念ながら見えません。



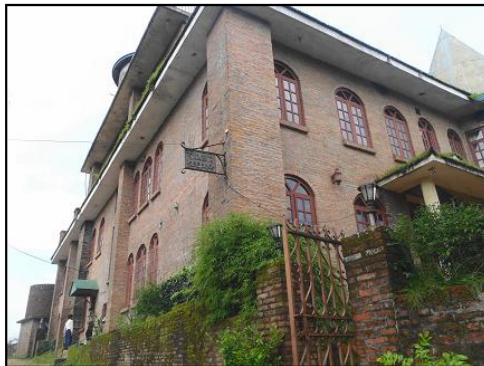
ナガルコットのタワーから



でもとても気持ちの良い場所でした。
そしてまた歩くこと5キロ...「雲海リゾート」を目指しました。
この雲海リゾートは、日本人のおかみさんがいるゲストハウスで、
一期生の皆さんから大変お世話になっているゲストハウスです。
皆でおかみさんに会いに行こうという事になりまして...
山道は流石に疲れましたが...



お〜きました。これは「には庭ロッジ」先輩たちが作品展をしたところですよ。



そして確かに雲海が見えるような高台にあるゲストハウス。
大変気持ちの良い場所でした。





ここで食事をして、おかみさんから、過去の写真展の様子の写真を見せられました。



一期生の皆さんの写真も大切に持っていたっていました。



ガタガタ道の車の中でも、皆さんぐっすり眠って帰りました。
このフィールドワークでは、人との出会い一つとっても先輩たちから引き継がれていくものが沢山あります。
6期生もまた、様々な出会いや経験を後輩たちに残していかれるものと思います。
バクタブルでお世話になった「Shiva Guest House」の家族の皆さんと記念撮影本番にお世話になりました。





post by 引率Staff | 日時: 2011.07.13 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.11

Day 116, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

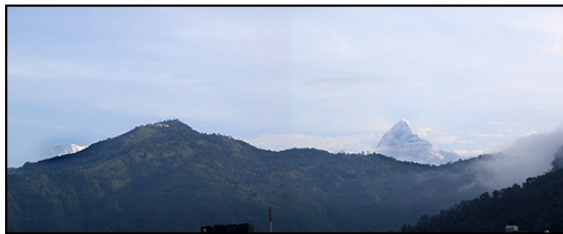
Tokuda.

ボカラ9日目
9th day in Pokhara.

朝から今までで一番の快晴でした！
This morning was the clearest day since we came!

右にくっきりと滞りのないマチャプチャレ、
左にひっそりと見えるのはアンナプルナ。
どちらも神の領域です。
The right mountain is Machhapuchhre and the left mountain is Annapurna.
Both mountains are holy mountains.

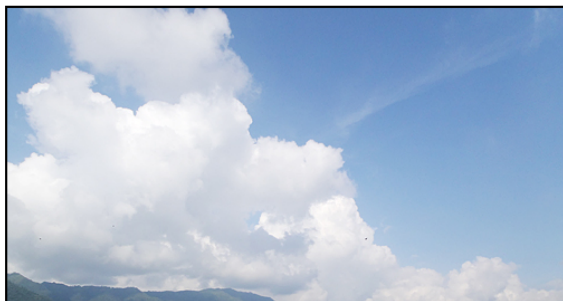
しかしサランコットの丘がどうしても山の全貌を遮っています。
However, the hill of Sarangkot obstructs mountains.



ホテルからみても十二分に壮麗な山々ですが、
サランコットのサミットから遠るものなく、
素っすぐに対峙して見ることができたらどれだけ圧倒されるのか。
震えるでしょう。
I could touch the very nice mountains from the hotel we stay but if I can see not to be obstructed mountains, I am sure I would be so much impressed more.



と思ったため、トレッキング好きの清水さんとともにサランコットへ向け出発。
So, Shimizu and I went trekking to the summit of Sarangkot.





普通の観光客はタクシーなど車でサランコットの頂上付近まで行き、そこから少し歩いて頂上まで行くらしいのですが、全て歩いて行ってみました。
Normally, tourists go to Sarangkot by taxi or a hired car to a near stop from the top and then they take steps to the top but we did not take any cars, only by walking.

少しずつ景色が開けて湖と街が見えてきて、丘の高さを超えて行きます。

階段の多いサランコット・トレッキング。
汗の勢いは今回のFWで一番ではなかったのでしょうか。
まさにあれこそ滝。
Too many steps in Sarangkot so they made me got too much sweat!
That was exactly like a waterfall.



清水さん、ボカラ街並、フェワ湖。
Shimizu, Pokhara's town view and Fewa Lake.

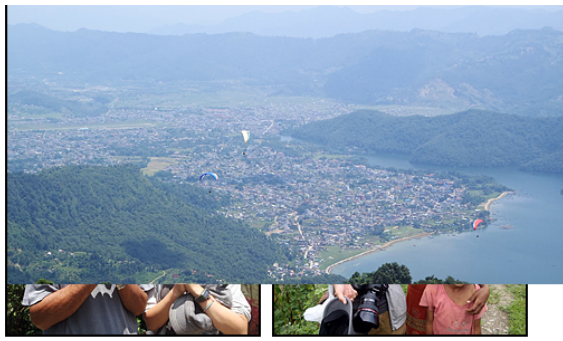


上を見上げるとたくさんのパラグライダーが風に飛んで飛んでました。
ものすごく気分よさそうです！
When I looked up the sky while we were taking a rest, I could see lots of paragliders.
It must be so excited!



村人と清水さん。
Shimizu and villagers





望遠鏡で山並みを見る清水さん。
Shimizu was looking view of the mountain by using a telescopes.



本来はこの先にヒマラヤの山々が見えるはずなのですが、
山は再び雲をまとってしまいました。
それでも十分にサランコットの景色は絶景です！
Actually, if it were very clear day and different season, I could see the Himalayas but even if there was no mountain chains, it was the best view in Pokhara, so amazing!



風を切る音を立てながら飛ぶパラグライダー。
Paragliders were riding air.

想像していたよりも、もの凄く自由に風に飛んでいました。
体で風と空気を感知しながら飛んでいたのも、さぞ気分のいいことでしょう！



そして、しばらく頂上で休んだ後、下山。
We took a rest for a while at the top. Then, we took a return way.

学生たちは夕方、写真展の協力をして頂いた
ナマステ・チルドレン・ホームに挨拶に行きました。

多大なご協力を賜りまして、ありがとうございました。
Students went greeting to Namaste Children Home.
We appreciate vary much for your corporation.



post by 引室Staff | 日時: 2011.07.11 | [バーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラフィック \(9\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引室ブログ2011 > 2011年07月アーカイブ

Day 115, Bhaktapur, Nepal

[Tweet](#)

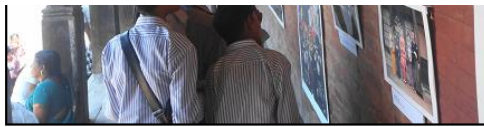
[Check](#)ネパール・バクタプル
から引室の丹下です。

バクタプル班・おにぎりチーム（鈴木くん、小林さん、森上さん、柳川さん）は
3日間の写真展を無事に終えることができました。
ご協力いただいた「Bhaktapur Japanese Language Institute」スタッフの皆さん
本当にありがとうございました。
今回の写真展には本当に多くの方々に来場していただき、沢山のコメントを
いただくことができました。
ここバクタプルで学生達が、経験したことは生涯の思い出になったことと思います。
最終日も快晴です。



最終日も本当に多くの方々に来場していただきました。







小林さんが追加で急遽作成したポスターです。



子供たちに大人気の折り紙です。行列ができました。

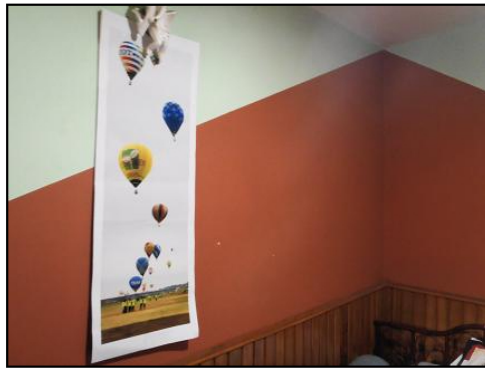


紙飛行機を作ってあそびました。





記念撮影（Bhaktapur Japanese Language Instituteの先生方と）
 回みにこの写真はシバゲストハウスのオーナーの自宅（部屋）の写真です。
 昨年の5期生が持ってきた作品。大事に飾っていました。



本日は、日本語学校の学生さんたちとの交流会を行いました。
 写真を学んだ学生達が、基本的な撮影のテクニックを学生達に教えながら、日本語の交流
 をしました。
 日本語を学んだばかりの学生から、先生方まで約15名の生徒さんが今回の交流会に参加を
 してくれました。



真剣に授業を受けている生徒さん達。





小林さん頑張っています。



撮影の実習を楽しそうに受けていました。



カメラの操作方法、仕組みなど2時間に及ぶ授業のあと、希望者はさらにバクタブルの街をツアーしてもらいながら、交流を深めました。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.11 | [バーマリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.10

Day 115, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ボカラ7日目
7th day in Pokhara.

写真展最終日
The last day of the photo exhibition.

本日も早朝は雨。
雨期だから仕方なしと思い、朝食へ向かうと
山の一部が見えました！
今日は朝から運が良いようです。
This morning was raining again, unfortunately.
Because of the monsoon season, nobody can predict the weather so I went to have breakfast in the restaurant as usual, then, I was waiting for my breakfast.
Suddenly, I was told the mountain came out between chick of clouds.
Wow, how lucky I was from the morning so this day would be the day of full of fortune, I hoped.



朝食

原さん、清水さん、高野くん

Having breakfast, Hara, Shimizu and Takano.



先日学生が撮影係を担当したレストランにて行われた結婚式の写真が出来上がりました。
とても満足して頂けたので、上出来です！

The wedding photo that students were shooting as photographer in this restaurant was completed.

Staffs were really satisfied with it so it must be the very good photo!



朝から午後まで天気のいい日は
たくさんの方がパラグライダーでサランコットから飛んでいます。
気流に乗って上がったり下がったりしているので、間違いなく気持ちいいでしょう。
しかし、ユーロで支払いの為少し高いんです。

Many paragliders were jumping from Sarangkot if it is a clear day.

They ride air current to go up and down.

It must be very exciting!!! but you need to pay by Euro.



山岳博物館へ

I went to the International Mountain Museum.





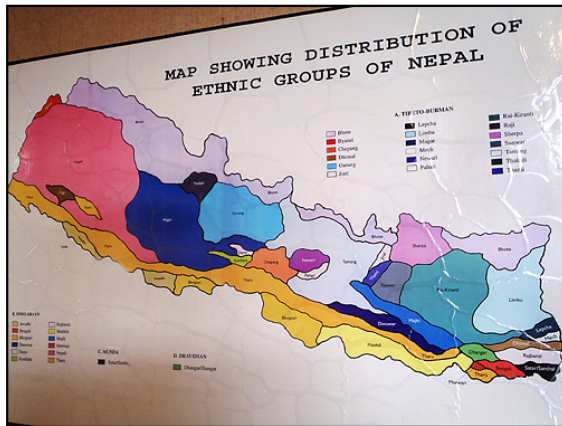
ボカラのレイクサイドから山岳博物館まで歩いて45分ほどかかります。
晴れると日傘をさす人が多いくらい日差しが強いです。とても暑いです。
少し迷い、汗だくになりながらようやく到着。
I got to the museum for 45 minutes from Lakeside to here on foot.
Today was very hot so lots of people couldn't help holding an umbrella.
When I arrived at the museum, I got too many sweat.



国際山岳博物館 2004年2月にオープン。
The International Mountain Museum, opened Feb, 2004.



様々な展示があります。
建設にあたり日本の山岳諸団体や個人からも支援を受けました。国別としては最大です。
最初はネパールの民族から。
目下らがやたらと強いてマネキンが民族衣装を装着して、民族の説明などが書いてあります。



日本のマタギとネパールの民族マネキン。
Nepali culture

身長、体格、目力、衣装の違和感、それを合わせて考えると
ネパールのマネキンだけ格の違いは一目瞭然です。



8000mを越える山々の説明。
Mountains above 8000m.





河口慧海コーナー
Japanese monk Ekai Kawaguhi

五十嵐先生と熊倉局長も過去にブログにも登場した河口慧海。
中国や日本に伝承された漢訳仏典に疑問を持った彼は
1897年(明治30年)に神戸港からサンスクリット語の仏典を求めチベットへ向けて旅立ちました。
100年以上前のその時代はどんな世界だったのでしょうか。
もっと世界が多様で、未知で未踏で、彼の旅はとてつもなく今とは違ったのでしょう。
彼の旅は「Three years in Tibet」という本になり出版されています。
2007年の五十嵐先生、2008年の熊倉局長に続き、購入し読みたいと思います。

[2007年:五十嵐先生](#)

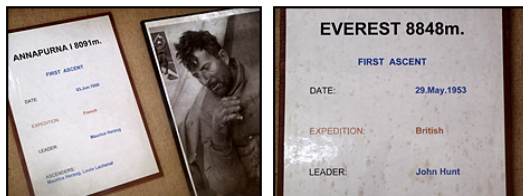
[2008年:熊倉局長](#)



どんな世界だったのが想像するだけでも十分に楽しみです。



人類で初めて8000m以上の山を登った人と、1953年3月29日 エベレスト初登頂成功者。



写真左：今西義雄が世界初のマナスル(8163m)登頂に成功。
日本人、世界初がどれほどにすごいことが！

写真右：田部井淳子、女性として世界で初めてエベレスト(8,848m)登頂に成功し
7大陸の山の登頂にも成功！

この二人は本当に素晴らしい人です、尋常ではありません。
日本人として誇りに思います。





大沢 茂男 1927年生まれ
エベレスト・ベースキャンプのちかくのグラクシエ湖(5250m)で
毎年元旦に泳いでいるそうです。
写真は2009年まであったのですが、その後どうなのでしょうが。
間違いないご高齢なのですが。

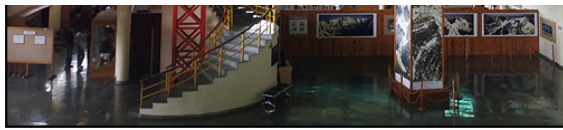


野口 健
25歳でエベレスト登頂に成功し、当時の世界7大陸最高峰の最少年記録を樹立。
登山降が捨てていったゴミの回収の展示がしてありました。



日本人として、こんなにも素晴らしい活動をしている人がいることを誇りに思います。





フェワ湖
Fewa Lake.



写真展終了です。

おつかれさまでした。

片付けをする学生たち。

Students' photo exhibition finished.





片付けをしていると空には綺麗な夕日。
雲が開け、とうとう写真展最終日にマチャブチャレが全編を現しました！
Holy Machhapuchhre came out finally!!
Than you so much!

ありがとう！

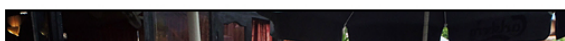


神々しいそのやまに感動し続ける高野くん、原さん。
Takano and Hara were looking up breathtaking Machhapuchhre.



やはり違います。

いますね、あれは。
神聖にして人間の立ち入りを禁ず山であるマチャブチャレ。
まさに神の住まう山。
夕日に照らされていた姿は忘れません。
I won't forget the holy mount Machhapuchhre.





夕食は皆でチリバーへ。

ボカラ班、写真展おつかれさまでした！



ボカラでの日々も残りわずかとなりました。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.10 | [バーマリンク](#) | [コメント\(7\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.09

Day 114, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

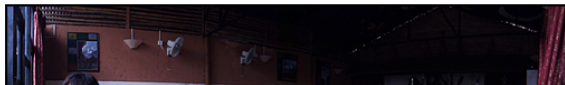
[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ボカラ5日目
6th day in Pokhara.

昨夜の星空に一晩の期待をしていたので、本日も早朝に起床。
しかし、覚醒した瞬間から聞こえる音。
雨音ははっきりと聞こえました。
今朝も空は晴れ渡らず、山は見えませんでした。
Since I expected for the shining stars last night, I got up early in the morning again.
However, once I woke up I realized the sound.
It was heavy raining outside. Wow.
This morning, It also wasn't clear so I couldn't see mountains.

ヒマラヤが見える丘、サランコットから飛ぶパラグライダーを見て朝食をとる
原さん、清水さん、堤さん、高野くん。
Hara, Shimizu, Tsutsumi and Takano were having breakfast and looking up Sarangkot.





畜のチキンモモはとても美味しいです。
Momo in this restaurant is very good!

モモは元々はチベット料理ですが、ネパールで広く食べられていて、
味は日本の水餃子に似ています。
Momo actually came from Tibet but Nepali eat it quite often.



写真展にたくさんお客さんが来てくれました。
Maybe because today was Saturday that is holiday in Nepal, many people came to the exhibition.



芳名帳に名前を書く来場者と、若千17歳の美人ラジオインタビュアー。
Visitors were writing on the visitor's note and the young very beautiful interviewer.



ラジオでこの写真展について話して頂けるそうで、取材を受ける清水さん、原さん。
She would broadcast on the radio so students were interviewed.





宿のモハンさんと来場者の人にもインタビューをしてました。
She also interviewed to Mr. Mohan and visitors.



青く晴れ渡る空を見てみると、サランコットの奥がみるみると晴れていきました。
When I was looking up the blue sky with Mr. Mohan, cloud around Sarangkot was getting blew off.
Mohan told me "The mountain is coming"

待ちに待ったこの時。
I was so excited. Do you know how long I was waiting for this moment!?

マチャプチャレの頂(6993m)が雲の隙間から姿を現しました。
天に突き出るマッターホルンのようなそれは
神聖な山のため人は誰一人として登ることを許されていません。
Holy Machhapuchhre came out the chick of the clouds at last!!
The mountain that projects to the sky doesn't allow human to climb, even only one man. How holy it is!



どれほどに待ち望んでいたことが。
神の住まう山。
マチャプチャレは独々にその姿を見ることを許しました。
I forgot how long I was waiting for it.
The mountain that god lives in, holy Machhapuchhre finally forgave us to see the summit!

しかし、またしても雲は一旦退いたのみ。
姿を見ることができたのはほんの15分でした。
However, cloud left just for a while so we could only see 15 minutes.

今度はサランコットから全景を見たいです！
I hope to see whole shape of the mountain from the hill of Sarangkot.



学生たちに大人気のレイズ(Lays)と
モハンさんからネパリ語を教えてもらう清水さん。
Shimizu was learning Nepali from Mr. Mohan.



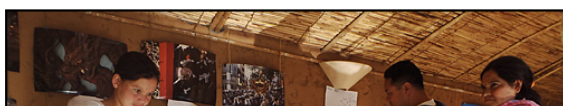
入り口にてお客さんを待つ原さん、堤さん。
Hara and Tsutsumi were waiting for next visitors.



原さん、モハンさん、堤さん。
Hara, Mr. Mohan and Tsutsumi.

ちなみにモハンさんの本業はトレッキングガイドでネパールほぼ全土いったことがあると
が。

Mr. Mohan is the very good trekking guide that is recognized by Nepali government so he has
already trekked whole around Nepal. If you are interested trekking in Nepal, you can ask to Mr.
Mohan to go trekking.





写真展も残り明日の最終日です。
Tomorrow is the last day of the photo exhibition.



みんなで夕食へ。
We went to dinner together.





服屋さん。
The Nepali clothes shop

ポカラにある服屋さんはカトマンズのとは少し違いますがとても良いです。
Clothes' shops in Pokhara are quite different from Kathmandu's ones but I like Pokhara's.



チベットから来た難民のおばちゃんと伝統的なアクセサリーを買う学生たち。
Students were choosing accessories from refugees of Tibet.



今日は日本食レストラン「古都」へ。
Today's dinner was at the Japanese restaurant name is 'KOTO'



美味しい日本食を食べて満足げな清水さん、原さん、堤さん、高野くん。
Shimizu, Hara, Tsutsumi and Takano were stisfied with good food that they had in this restaurant.





明日は写真展最終日です。
Tomorrow is the last day.

良い天気になると良いですね！
I really hope it is going to the sunny day and come out mountains again!

カテゴリ:

post by 引室Staff | 日時: 2011.07.09 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引室ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 113-01, Bhaktapur, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)ネパール・バクタプル
から引室の丹下です。

バクタプル班・おにぎりチーム（鈴木くん、小林さん、森上さん、柳川さん）は
現地の日本語学校「Bhaktapur Japanese Language Institute」の皆さんと
協力して写真展を開催します。

AM10:00～いよいよ世界遺産の街、バクタプルの中央広場で開催。
ずっと雨だった天気も...今日だけは晴れ！本当に奇跡的
天候も彼らの写真展に協力してくれているようです...



写真作品を並べて、これから展示します。

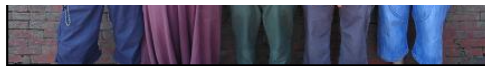


何とか10時までにすべての作品展示できました。



日本語学校の先生方、ボランティアをしている学生と
「おにぎり」で記念撮影。





写真展のどろを配りに日本語学校の先生方と...



写真展には..本当に多くの方が来場して大盛況！
子供たちも沢山来てくれました。



子供たちには折り紙のプレゼントを..鶴、花、手裏剣...



次から次へ集まってきました！





森上さんと柳川さんが、終始「可愛い～」と大人気のアマル先生と記念撮影。



10時から16時まで開催していましたが、本当に人が途切れることもなく、一日を終了しました。



一日目の今日は土曜日です。さらに多くの人たちが来場されるだろうとの事。楽しみです。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.09 | [バーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.08

Day 113, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ボカラチ日目
5th day in Pokhara.

今日も朝は雨が振り、あいにくのお天気でしたが、
日が昇につれて青空が綺麗に出てきました。。
こんなにも晴れてくれれば、橋脚だけでも見せて下さい。
マチャブチャレ。
しかし、雲は今日もまた一日中山の麓に留まっていました。



朝から写真展のために作業する高野くん。



子供たちとふれあう堤さん。



子供たちとふれあう堤さん。



宿の近くにもボート乗り場がありますが、ここにもまた乗り場があります。
ボートに乗りるのもまた楽しいかもしれません。





湖のわきでなにやらの撮影をしていました。



彼ら曰く、
「あのヒーローを知ってるか？ ネパールのわりと有名な俳優だ。ほら？」
「お前は、あの俳優をカッコいいと思うか？ どうだ？」
「今は携帯電話を使って彼女に歌を歌うシーンを撮ってるんだ。有名なんだぞ？」
「いや映画じゃない。ドラマだ。」
「彼女の方はそこまで有名じゃないが、ほら、撮みたいだろ？」

やたらと笑い、彼らをネタにして話す陽気な若者たちと撮影を見ていました。



日差しが強いため俳優さんの汗を拭くメイクさんのような人。

極端に少ない人数で動画を撮っていましたが、大丈夫なのでしょうか。



彼女役の女優さんと、ダンサーの方たちと見物客。



このボート乗り場から湖にあるちいさな島へ行ることができます。





木がいいかんじです。

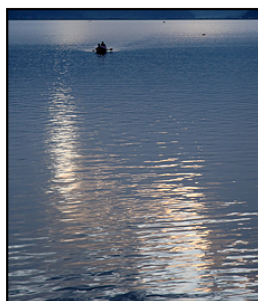
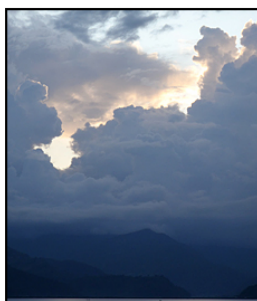
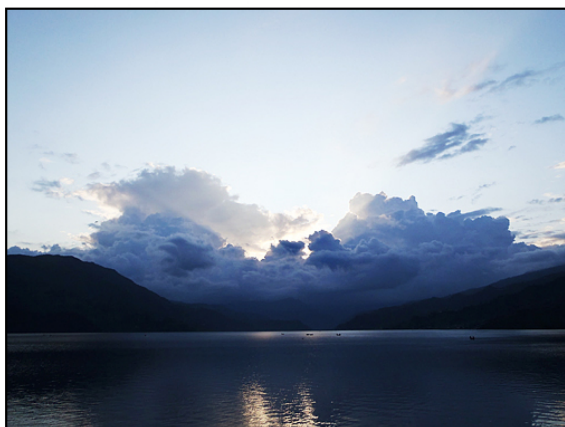


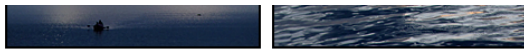
来場者に写真を説明する清水さん、堤さん。



今日は良い天気だったけあり、夕日も格別でした。

夕焼けを見にフェワ湖へ。





フェウ湖に映る山を見ることはなかなか叶いませんが、
今日のとても綺麗な夕日もそう簡単には見れないでしょう。
湖の横に座り、ゆったりと夕日を眺めに来る人もたくさんいますから。

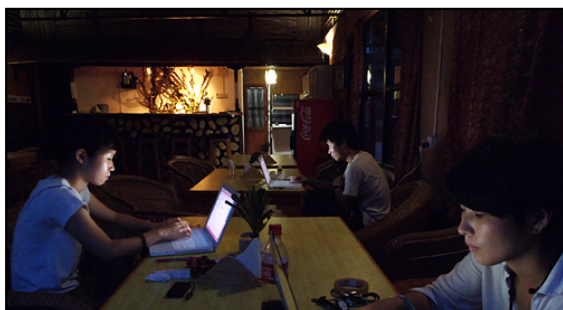


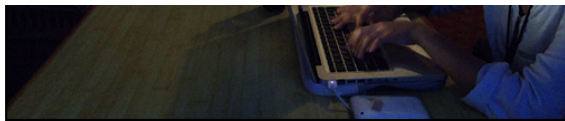
作業をする堤さん、原さん。



原さん、高野くん、堤さん。

ここはレストランですが、涼しい風が通ってとてものもんぴりと出来ます。





日本食レストラン「桃太郎」



チリバーで撮影をしていた清水さん。



写真展会場で作業をする高野くん、清水さん、星の撮影を試みる堤さん。



今日の夜、空に星がいつになく多く光っていたので明朝に大きく期待していました。
しかし先程、また雨が降っておりました。

明日こそは山が姿を現してくれると思ったのですが、どうでしょう。

明日の朝に再び期待します。

今度こそ見ることが出来るはずです！ マチャブチャレ、アンナブルナ！
Can we see the mountain tomorrow morning??

カテゴリー:

post by 引室Staff | 日時: 2011.07.08 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引室ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.07

Day 112, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引室スタッフ徳田です

This is an escorting staff,

Tokuda.

ボカラ 4日目 セタ
4 th day in Pokhara and the day of Star Festival.

昨夜から降り続いていた雨は
「我は雨期なり」
と言うように一時もその雨脚を止めようとしませんでした。
今日のボカラはずっと弱い雨と強い雨が降る1日でした。
いつになったら山は見れるのでしょうか。
宿のモハン曰く、9・10・11月は最高の季節で、
空が青く澄み渡って常に山々がその姿をさらし、湖に姿を映すそうです。
なんと。
想像するだけで感動することが容易に思い描けます。
The rainfall that was continuously raining from last night said
'I am the monsoon season'

I think it said like that so it was raining whole the day of today.
When will we be able to see the mountains?
Mr. Mohan said
"Pokhara's best season is Sep, Oct and Nov. When you come those seasons I'm sure you can see the mountain so we can go trekking."
Wow how good it is.
I can very easily imagine to be impressed.



学生たちの写真展は今日が初日です。

開催おめでとう！

さっそくお客さんが来てくれて、メディアの取材も受けたそうです。
ありがとうございます。

Today was the first day of the students' photo exhibition.
Congratulations to hold it!
Visitors and media came to their exhibition today.
Thank you very much.



作業をする高野くん、原さん
Takano and Hara were working.



入り口にはこのボード。
The entrance board.



清水さんと子供たち。
Shimizu and students.





学生たちが頼んでおいた大きなポスターが完成しました。
ありがとうございます！

原さん、堤さん、子供たち。

The very big poster that students ordered was completed.
Thank you very much.
Hara, Tsutsumi and children.



入り口に張って頂きました。

堤さん、宿のスタッフ

The hotel allow to put it in the entrance.
Tsutsumi and hotel staff.



清水さん、堤さん、子供たち。
Shimizu, Tsutsumi and children.





夜は皆で夕食へ。
We went to dinner together.

晴れて山が姿を現したら、フェワ湖に反射している風景を常に見ることが出来る最高のレストランです。
さらに食事とても美味しい！
あいにく夜でしたが、うっすら見える湖と遠くの民家の灯りがなんと綺麗で、今の時期でも十分に最高です。
The restaurant that we were in is one of the best restaurant in Pokhara because if it were the sunny day and mountains appeared, the Fewa Lake would reflect mountains so we could see it from the restaurant!!
Even if it was night unfortunately, we could slightly see the very beautiful lake and lights of houses so for me, it is still one of the best restaurant in Pokhara.

高野くん、清水さん、原さん、堤さん
Takano, Shimizu, Hara and Tsutsumi.



明日は写真展2日目。
良い天気になるといいですね。
Tomorrow is second day of the photo exhibition.
I really hope it is going to be the clear day.

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.07 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

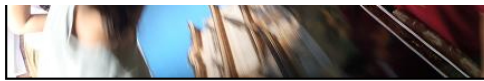
Day 111, Bhaktapur, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)ネパール・バクタプル
から引率の舟下です。

いよいよバクタプル班も明日からはここ世界遺産の街バクタプルで3日間作品展を行います。
今日も、ご協力いただく日本語学校の先生方と作品展の準備。
日本で撮影をして出力してきた作品のチェックをしています。
このサイズですからさぞ目立つ事でしょう！





「おにぎり」というチーム名を入れたポスター。日本語学校の先生方にも大好評！



作品展の会場はコチラ...中央にある広場で行います。本当に素晴らしい場所です。

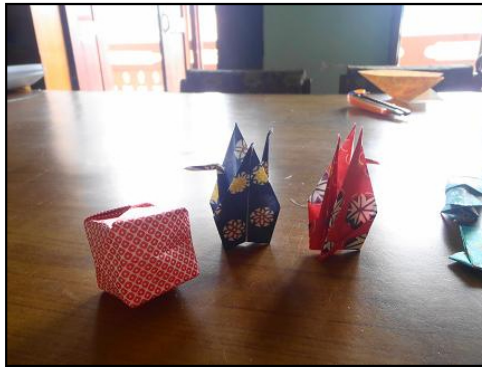


昨年もここバクタブルで作品展を実施した実績もあり、昨年は40,000ルピーの会場費が、何と...3,000ルピーに。これは、日本語学校の先生が事前交渉をしてくれていました。
これには、学生も驚き...本当にありがとうございました。そして5期生の皆さんありがとう。
市役所にお金を納めに行く鈴木さんと柳川さん。





柳川さんが日本から持ってきた折り紙で、鶴を折ってみました。



夜は日本語学校の先生方と会事会「MOMOMO・パーティー」（バッファローの親子）です。



今朝のバクタブル新聞に今回の作品展の紹介（広告）をいれていただきました。これには学生も「感動」





明日から3日間の作品展。本当に楽しみです。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.07 | [バーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィニールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.06

Day 111, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)引率スタッフ徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ボカラ3日目
Third day in Pokhara.

この日の朝も早起きして山を仰ぎましたが、
そこには白く重く厚い雲がのっしりと留まっているのみ。
I got up early in the morning again.
However, the white thickest cloud kepted on staying.

忙しく写真展の準備をする原さん、清水さん。
Hara and Shimizu were working for the photo exhibition.



畜から少し歩くとカトマンスにもある、桃太郎という日本食屋さんに行けます。

うまいです。日本食です。

まさか、ボカラでこんなにも美味しい日本食を食べれるとは思っていませんでした。

写真展の案内チラシを張る清水さん。

A short walking distance from the hotel, we can go to Japanese restaurant Momotaro.
They serve very good Japanese food. I had Tendon and Katsudon, btw.
I really didn't expect such a good Japanese restaurant in Pokhara.
Shimizu put photo exhibition's poster on the pillar.



豚丼を食べる高野くん、私の頼んだ美味しい冷やし中華。
Takano was having Butadon and Hiyashi-chuka that I had.





パソコンを開き、作業をする高野くん。
Takano was working with his laptop.



清水さんと宿の2人。
Shimizu and hotel staffs.



今日は終日山方面に雲がかかっていました。
The direction to mountains was cloud whole day of today.

ヒマラヤの山々を望むサランコットの丘(左)は常によく見えるのですが。
I could always see Sarangkot where is known as Himalaya viewing spot but it is just a hill.



夜、雨がとても激しく降っております。
この調子だと明日の早朝も厳しいのではないのでしょうか。
When I'm writing this blog, the outside is heavy raining.
I'm afraid it seems like very difficult to see the mountain tomorrow morning.

セタである明日7月7日。
Tomorrow, July, 7th is The Star Festival.

山が綺麗に望めることを期待します。
I'm really expecting to be able to see the mountain.

カテゴリー：
post by 引率Staff | 日時: 2011.07.06 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 110, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)引率スタッフ 徳田です
This is an escorting staff,

Tokuda.

ポカラ2日目
Second day in Pokhara

「朝はすごく晴れる確率が高いんだ。
大丈夫。この時期でも早朝ならここから綺麗なマチャプチャレが見える。」
'The probability of appearing the mountains that you want to see is very high in early in the morning. You can easily see Mount Machhapuchhre if you get up early in the morning, even this season'
Really?

宿のモハンに聞き、期待に胸膨らませ起きた早朝5時半。
部屋から外に出ると、空はまだ白けていて朝の始まりでした。
Mohan told me last night so I got up 5:30 in the morning.

山は？ どこに。
Where is Machhapuchhre???

完全な曇りで、さらに雨も散らっていました。
It was completely cloudy and raining.



昼食を食べ終えてゆっくりしていると、空には青空が覗いてきました。
When we relaxed after lunch, the sky was getting blue.

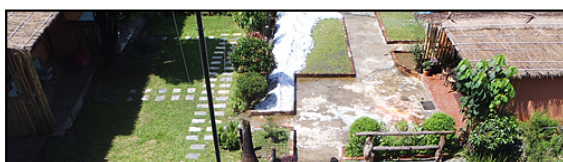
山を望むと、そこには徐々に姿を現す雪を化粧したマチャプチャレが！
So, I looked up the mountain and there was beautiful snow-made-up Machhapuchhre!!!



望遠して見ても、やはりまだ少し遠く雪も多い。
しかし、マチャプチャレは我々に一瞬でもその姿を見せてくれました。
いつか完全なる真昼極まる姿を拝ませてくださいましょう。
There is still lots of cloud around Machhapuchhre but it came up in front of us, even just for a moment.
I'm sure that the god of epical Machhapuchhre will make us meet him one day.



十数分でマチャプチャレは再び厚い雲をまといました。
Only few minutes, Machhapuchhre wore thick cloud again.





宿から少し行ったところには宿と小さな商店がたくさんあります。
There are lots of small shops and hotels from the hotel we stay.

喧嘩が少なく、晴れると少し暑いですが
山が涼しい風を運んでくるので歩いていても清々しいです。
Not so noisy and just a bit feel hot if the sun is in the sky,
Mountains bring cool window.



フェワ湖。
Fewa Lake that is the second largest lake in Nepal.

時期が合えば山々がこの湖に映るそうです。
さぞ綺麗なことでしょう。
If it is good season, mountains reflect the lake.
It must be so beautiful.



朝から夜まで作業を続けるボカラ嬢。
Students were working from morning to night.



So, mountain will come up tomorrow morning?

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.06 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.05

Day 109-02, Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is a escorting staff,

Tokuda.

ボカラ 1 日目
First day in Pokhara.

人口約 19 万人のネパール第 2 の都市。
カトマンズから西へ 200 km に位置し、
年間 4000 ミリにも達する国内でも最大の降雨量があります。
晴ればダウラギリ、アンナプルナ、マナスル、
という標高 8000m を越えるヒマラヤの山々が見えるそうです。
Population is 190,000 and the second city in Nepal.
Located in the 200km west of Kathmandu.
There is the largest rainfall reaches 4000mm per year.
If it is sunny day, Mount Dhaulagiri, Annapurna and Manaslu that reach more than 8000m are
going to appear.

ボカラ空港に到着しました。
We arrived Pokhara airport.



気持ちのよい空、風、ボカラは良いところです。
Very nice air and window, I like Pokhara.

思わず背伸びをする堤さん、原さん、高野くん。
Tsutsumi, Hara and Takano.



ここで預け荷物を受け取ります。

とても小さい空港です。
We got our backpacks from such a small building.



ポカウ空港。
Pokhara Airport.



宿泊先の方が空港まで向かえに来てくれました。
The staff of a hotel we stay in Pokhara came to the airport.

ナマステ。
Namaste.

高野くん、原さん、清水さん、堤さん、モハンさん。
Takano, Hara, Shimizu, Tsutsumi and Mr. Mohan.



タクシードライバーのおっちゃん和高野くん。
Taxi driver and Takano.

ナマステ。
Namaste.



宿は予想以上に良い宿です！
Unexpectedly, the hotel is very cozy.



ボカラ班4人はチェックインを済ませると
すぐに写真展のミーティングをしていました。
The team Pokhara started meeting just after checking in.



協力して頂く孤児院へ挨拶しに行く学生に同行しました。
Students went greeting to an Orphanage which supports with them.





オフィスにて。
In the office.

打ち合わせをする学生たちとスタッフ。
Students and orphanage staffs were meeting.



ボカラは金体的に思ったより都会でした。
Pokhara is quite developed more than I thought.



ネパールの伝統的帽子のトピー帽屋さん。
The shop of traditional caps in Nepal.



夕食後はサプライズで高野くんの誕生日会。
Takano's birthday party after dinner.





学生たちはケーキを用意していました。
They provided the birthday cake.



高野くん、誕生日おめでとう！
Happy birthday Takano!





朝は晴れる確率がとても高く、この時期でもほほ山が見えるらしいです。

晴れば霧から神聖な山のマチャプチャレとアンナプル峰が見えるとのこと。
楽しみです。

翌朝は山が姿を現してくれるのでしょうか。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.05 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月アーカイブ

Day 109-01, Kathmandu to Pokhara, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)引率スタッフ徳田です
This is a escorting staff,

Tokuda.

ネパール3日目
Third day in Nepal.

ネパールで学生たちはボカウ種とバクタブル種の2班に分かれて写真展を開催します。
私はボカウ種に同行することになりました。
Students start preparing for the photo exhibitions in Pokhara and Bhaktapur.
I accompany with a team Pokhara.

早朝、まだ少し眠い中ホテルのロビーに集合。
Early in the morning, still a bit dreaming, we got together in the lobby.

清水さん、堤さん
Shimizu and Tsutsumi.



高野くん、送りに来てくれた森上さん、原さん
Takano, Morigami that came for seeing off us and Hara.



熊倉局長、丹下さん、アショカさんも見送りに来てくださいました。
朝早くからありがとうございました。
Mr. Kumakura, Mr. Tange and Mr. Ashok.
Thank you very much for seeing off us from early in the morning.



行ってきます！
See you!



暫しの別れに悲しそうな森上さん、アショカさん、熊倉局長、丹下さん。
Morigami who was sad about seeing off us, Mr. Ashok, Mr. Kumakura and Mr. Tange.

熊倉局長、遠く日本からありがとうございました。
また再び日本でお会い出来る日を楽しみにしています。
Thank you very much for Mr. Kumakura.
We look forward to seeing you again in Japan.



カトマンズの空港に到着しました。
We arrived at the Kathmandu airport.

入国した時の国際空港の隣にある国内線の空港から出発します。
We departed from the domestic airport where is located next to the international airport we entered.

この時、6:50。
At that time, 6:50.





国内線の空港の建物。
This is the building of the domestic airport.



ボカラは7000~8000m級の山々が近くに見えることで知られています。
今は生憎の雨期ですが、運が良ければその姿を現してくれそうです！
Pokhara is known as we can see 7000-8000 altitude's mountain.
Now is unfortunately rainy season but if you have a luck, mountains will come up.

飛行機の窓からは写真左のような雄大な山々が見えるのでしょうか。
Can we see magnificent mountains from the window of the aircraft like the left photo?

それとも、写真右のように山に平行するようにグライダーに乗ることが出来るのでしょうか。
Can we take the glider to parallel mountains like the right photo?

楽しみです。神々は我々にどのような姿を見せてくれるのでしょうか。
I'm so excited about it. How the god of mountains give us the answer?



搭乗手続きが終わり、予定の時間がきてもう一向に飛行機には乗れませんでした。
We finished checking in but we couldn't take the aircraft that we are supposed to get on, even the time of boarding came.

それもそのはず、ネパールの飛行機は変わりやすい山の天気にも左右されるので遅れること、飛ばないことが多々あるのです。
そのため、ネパールで飛行機に乗る時は第一便を予約することがベターです。
[FW4山本さんはジョムソンからの飛行機が飛ばなかったことで、大変な移動をしました。](#)

Nepali flights normally depend on variable mountain's weather so they are often delayed and canceled flights.
It is a better choice to get the first flight of the day when you flight in Nepal.

当時、カトマンズの天気は安定していたものの、ボカラには雨が降っていたそうです。
In that time, Kathmandu was stable weather but Pokhara was raining.

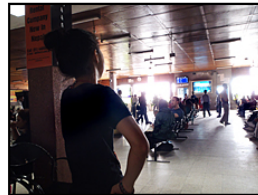




しばらく待って空港の職員さんに聞いても、
「たぶん30分後に飛ぶと思います、でも天気によるから分からない。」
と言われてしまいました。
Waiting for a while, we asked to airport officials when the flight depart.
They said 'I think it will flight in 30 minutes but I'm not sure of it'

いつがいつかと待つ学生たち。
Students were waiting and waiting.

堤さん、原さん。
Tsutsumii and Hara.



清水さん、高野くん。
Shimizu and Takano.



11:00

空港に到着してから約4時間。
とうとう天候が安定したため、搭乗開始です。
We were waiting for four hours at the airport.
In the and, weather was stable so we started boarding.



ネパールでは飛行機に乗る時に山が見えることで有名です。
熊倉局長とアショカさんから教えていただいた。
Nepal is famous in possible to see mountains from the planes.
Mr. Kumakura and Mr. Ashok gave us some strategies,

1. ボカラの行きは飛行機の右側に乗ること
 2. バスに乗る時は一番に乗るのではなく、最後に乗って一番に出ること。
1. Going to Pokhara, you should take the right side of the plane.
2. When the get on the bus, you should not be the first. You should get on the bus last and get off first.

この2点を守れば山を特等席で見ることができるのです。
If you follow those strategies, you can see mountains from special seats.

忠実に最後に乗車して、席にも書かず入り口のそばに立つ学生たち。
Students were standing the nearest place from the door.



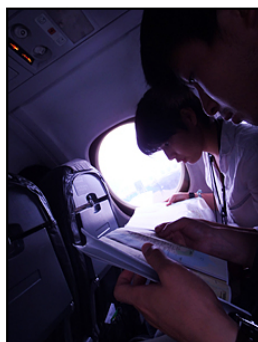


搭乗する最前列に並ぶことに成功しました。
We succeed in queuing the first row of the boarding.



そして、
無事に最後尾の席を確保することに成功しました！
Then, We could get the back row of the aircraft where is seemed the best place in the plane!

小型機のため、真ん中の席はほぼ羽で景色が隠れてしまいます。
最前列が最後尾の列がおすすめです。



騒音と気圧の関係でしょうか。

耳に詰める綿をもらいました。
Maybe for noise and air pressure, CA gave us a piece of cotton for stuffing our ears.



さあ、飛行機が飛び立ちました。

山は見えるのでしょうか！？
So, could we meet the mountains?





オリンパスを構え、目を凝らしながら山が姿を現すのを待つ原さん、堤さん。
Hara and Tsutsumi were waiting for the mountains with OLIMPUS.



どこ？
Where?

もっと先に？
They must be father, must'n they?

いや、まだ見える位置まで来ていないんじゃないか？
No, we even haven't reached the spot that we can see yet.

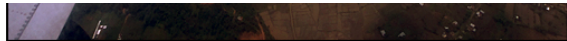
きっと雲の間からその鼻柱な姿を現してくれるはず！
They are supposed to appear from a chick in clouds, aren't they?



20分後、
その高鳴る脚の鼓動をゆっくりと落ち着かせるように
飛行機は着陸態勢へと入りました。
20 minutes later, the plane entered landing.

天の近くを飛んでいた我々は、地上へと戻って行くのでした。





神々から時期尚早という言葉が聞こえたようでした。

ポカラでは見ることが叶うのでしょうか。
Are we going to see mountains in Pokhara??

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.05 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月アーカイブ

11.07.04

Day 109, Bhaktapur, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)ネパール・バクタプル
より、引率の丹下で

す。
カトマンズから東に12キロ、カトマンズ盆地の東端にある
人口は約7万8000人。世界遺産の街にきています。
日中でも27℃。非常に過ごしやすい環境です。
ここで、鈴木くん、小林さん、柳川さん、森上さんが写真展をやりま
す。
ポカラ班は、7月4日 朝6時30分、滞在していたカトマンズのホテルから出発しました。
流石にちょっと眠いかなぁ...と思いきや皆元気でした。



重そうなバックパック...どうか気をつけて！ポカラ班に会えるのは7月14日。



ガイドのアショカさんも見送りに来てくれました。



私たちバクタプル班は、朝9時...車で移動です。





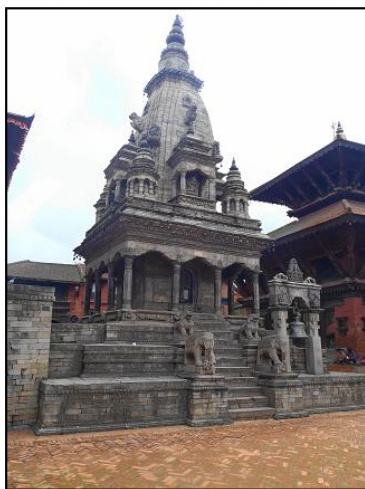
熊倉局長とアショカさんに見送られて出発です。



車に乗ること40分バクタブルに到着。早速世界遺産の街を見に行きました。



流石に世界遺産、とても神秘的な街並みです。

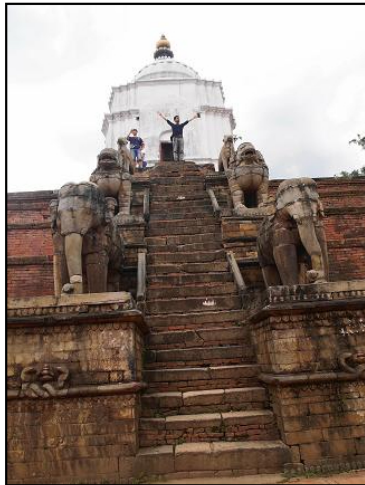




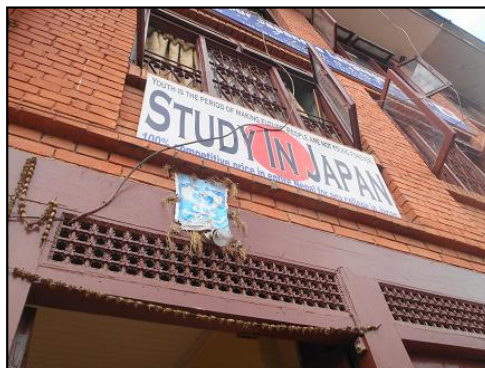
これが写真展のフライヤーです。



階段上に両手を挙げているのは...私です。感動！この風、世界遺産のど真ん中でこの風を受けています。



今回の写真展でお世話になる日本語学校（Bhaktapur Japanese Language Institute）です。



アミル先生と打合せ。5期生の事も沢山お話をいただきました。



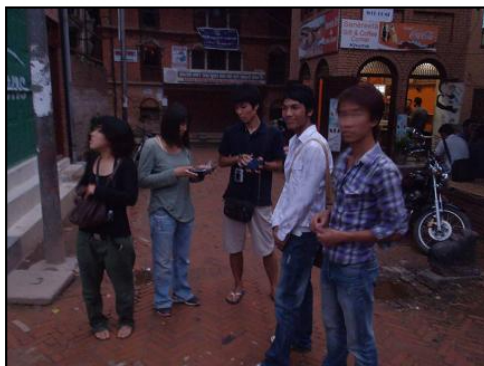
打合せも無事終了。なぜか皆で「おにぎり」です。



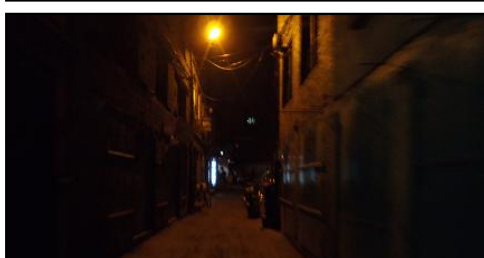
突然の雨も止んで、空から晴れ間が...



夜は日本語学校の生徒さんがホテルまで迎えに来てくれて、
バクタブルの夜を案内してくれました。
ブルナウマさん、クマルさん、本当にありがとうございました。



夜の街はまた違う景色に感じます。灯りが少ないのは停電のためですが
この雰囲気の方が、バクタブルには合うのかもしれない。





明日から本格的に写真展の準備が始まります。
この写真展のテーマは「ENJOY JAPAN」です。
多くの方に日本の素晴らしさを感じていただけたらなあ。
頑張れ学生のみんな。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.04 | [バナーリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 108, Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です
This is a escorting staff,

Tokuda,

ネパール2日目
Second day in Nepal.

学生たちは朝から写真展の移動などの準備に取りかかっていました。
Students start working for the photo exhibition.



それにしてもカトマンズのタメル地区の広告が多いです。
年々増えていってるんじゃないでしょうか。
カンボジアに行った時も思ったのですが、
韓国語表記を見る機会が特にここ数年で一段と多くなってきています。
Thamel is one of the popular destination in Kathmandu.
There is getting to increase many advertisement.
When I went to Cambodia in this FW, there is so many Korean words here and there.
This time's FW makes me feel Korean words around Asia rapidly increase in this few years.



指定泊のホテルはFW1期生から変わってないのですが、
FW4期生の時からホテルが改築してとても綺麗になりました。
カフェスペースのような場所もあって、涼しい風にあがせてゆっくりお茶できます。
The hotel we stay is the same hotel of FW1's time but it renovated in the time of FW4.

小林さん、柳川さん、丹下さん、鈴木くん
Kobayashi, Yanagawa, Mr. Tange, Suzuki



昨日に続き今日もガイドのアショクさんにお世話になりました。
ありがとうございます。
Thanks for our guide Mr. Ashok.

皆でヒマラヤそばへ。
We went to Handmade Himalaya Soba.
Soba is Buckwheat in English.



ネパールでまさかの手打ちそばを、しかもかなり美味しいものを食べれると聞き、
ホテルからバンに揺られること約30分。
Hotel Sunset Viewにあるそば屋さんに到着しました。
Handmade Himalaya Soba is located about 30 minutes from the hotel.



とても温かな気持ちの良い風が通り抜ける素敵な場所にあります。





熊倉局長から吉田企画の吉田様の梅干しを頂きました。
Umeboshi from Mr. Yoshida.



やはり日本人たるもの海外で日本食に恋いこがれた時は梅干しが一番でしょう。
Obviously, if Japanese in a foreign country, we can't help missing Umeboshi!!!



学生たちが梅干しを持って食べてい写真を撮っていると、
When I was shooting students' photos,

「あっ、美味しい！」
「うわっ、梅干し、酸っぱいけど、蜂蜜のあまさだ！」
'Wow Oishii'
'Gosh, this is quite sour but it's honey taste!'

と感嘆の言葉が聞こえてきました。
I could hear their expression.



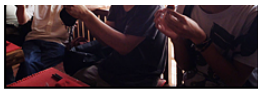
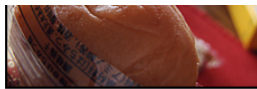
いやいや、梅干しはたしかに美味しいけれど少し大げさじゃあないか。
と思いつながら私も一粒。
I thought, yeah, I know how good taste Umeboshi is but they might express their feeling exaggeratedly.
Then, I threw one piece of Umeboshi.

んんっ。これは
柔らかな梅干しを口の中に入れたら、弾けるように果肉が飛び出す。
原風景を思い出させる酸味が脳を刺激しながら味覚を満ちませます。
第二の層に辿り着いたと思ったら、
そこからはほのかな蜂蜜が酸味を包み込む重奏が始まります。

旨い！ 驚くほどに美味しい梅干しでした！
What, what is, how good it is!!
That Umeboshi was one of the best Umeboshi I have ever had.

ありがとうございました。ご馳走さます。
Thank you very much!





続きまして、熊倉局長からどらやき。
Mr. Kumakura gave us Dorayaki.



箱を撮る高野くん。
Takano shoot the box of Dorayaki.



海外にいとると美味しいあんこが恋しくなるのは痛い用もない事実。
熊倉局長からのこのあんこは1つの生命線とも言えるかもしれません。
絶妙に焼かれた生地2枚にはさまれたあんこ。
こちらも最高です。
When we are in oversea, we need take Japanese red bean sometimes so the red bean which is from Mr. Kumakura could be one of our lifeline.

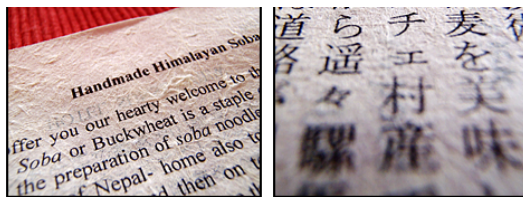
ご馳走さまでした！
Thank you very much!



そば粉はムスタン郡ツクチェ村という山村から運ばれてきます。
アショクさんに聞いてみると、FW4山本さんが訪れたジョムソンから
さらに行ったところにある場所ということです。
Soba brought from Tukuche Village in the Mustang District.
Mr. Ashok said the village is father than Jomsom.

標高2500mのその村では米作は不可能のため、
蕎麦を栽培して主食としていた地域です。
食べ方は麺に加工するのではなく、蕎麦がきのようにお湯で寝って、
肉汁やカレー汁を付けたり、パンにして食べたりしているそうです。
Tukuche is situated at an altitude of 2,600m where cultivation of rice is not possible so backwheat
is widely consumed in the village.
The most common forms of backwheat dish preparation includes Dheero (often eaten with
different kind of curry) and Roti.





心から嬉しいな堤さんと小林さん、柳川さん、清水さん
Tsutsumi, Kobayashi, Yanagawa and Shimizu are happy to face SOBA!



いただきます！
Let's have a eat.



「あ~~~~、うまいっ！ 最高！」
'Ahhhhhhh, it's so nice Soba'

打ち立て茹でたて蕎麦。
日本にいてもこんな新鮮なそばなかなか食べられません。





写真左：食後の後の蕎麦ようかん。
ほのかに香る柑橘系の香りがやさしくて美味しいです。
left photo: Soba jelly

写真右：蕎麦畑の写真
店内には3枚の写真が飾られていました。
その3枚だけでも十分にその美しい村へ行ってみたいくなりました。
right photo: A farm of Soba. It makes me feel I want to go to such a beautiful village.





おかわりもできるので、皆さんいただきました。
Everybody could eat a lot of Soba.

ご馳走さまでした。
Thank you so much.



カトマंडウ市内へ戻り、夕方は雨期だけに雨でした。
この時期に晴れることは少ないことは承知していますが、
どうか山のネパールの神様が許すのであれば神々しい
世界の壁の山々を今一度この目で見たいです。
Back to the center of Kathmandu. It was raining in the evening.
I understand it is very seldom to get the sunny day but if the god of Nepali Mountain forgive me
to meet the world's wall, I do want to see them!



18:07
気温24度。過ごしやすすぎてびっくりしています。
東京はもう真に入って、30度越えているようです。
この気温の中過ごしていたら、逆に日本へ帰るのが怖くなります。
I was surprised such a cool 24°C.
I heard Tokyo has already been into Summer and got above 30°C.
That distance of temperature between Nepal and Tokyo makes me feel afraid of going back to Japan.



メンディーをしてきた学生。
Students did beautiful Mendi.

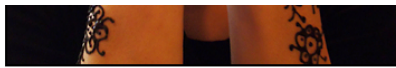


柳川さん、原さん、森上さん。
Yanagawa, Hara and Morigami.



原さんとメンディー。
Hara and Mendi.





柳川さんとメンディーと写真展用DM。
Yanagawa, Mendi and the photo exhibition DM.



森上さんとメンディー。
Morigami and Mendi.



明日からはボカラ種とバクタブル種に別れて写真展への日々が始まります。
Students will start preparing for the photo exhibition from tomorrow in Pokhara and Bhaktapur.

カテゴリー:
post by 引率Staff | 日時: 2011.07.04 | [バーマリンク](#) | [コメント\(8\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.03

Day 108, Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)インド・コルカタから
移動して、2日目の本

日、ネパール・カトマンズ
から引率の丹下です。明日からは2班に分かれて写真展を行う準備
に入ります。
私はバクタブルに移動します。どんな作品展になるか...楽しみです。
作品展の様子はこのブログでUPします。諸うご期待！
インドと比較すると、一番に感じるのは気温。昼間は流石に暑いですが、
夜は涼しいです。
インドと隣国とは思えないこの環境...
クラクションの少なさ、静かな街です。
何といても日本人に近い雰囲気の人々。
リクシャの運転手も必要以上に声をかけてきません（笑）
う～んでも、少し淋しい感じもします。
そしてカトマンズに来て感じるのは、女性がとても元気です。
コルカタの指定泊ホテルでは、皆ブログの更新やメールをフロント
で行っていました。
なかなか面白い光景です。





カトマンズの風景



こんな魚（ボラ？）でしょうか。売っていました。



明日からの打合せを現地のガイドさんとする堤さん。
男性の方がカトマンズのガイド、アショカさんです。
大案お世話になっています。



カトマンズについて2日目の本日は、熊倉局長に
またまたご馳走になりました。
なんと...華表です。長野で修行を積んだという華表屋さん、哲の
テンションも最高潮に！



なんとここで、吉田企画の吉田様よりいただいた梅干しのお土産が...！
これには全員テンションあがりました。

高野さん、森上さん、美味しそつにいたたいくいます。
吉田様、日本からの素敵なお土産をありがとうございました。



記念に撮影を...お店のスタッフの方に撮っていただこうと
徳田さんからカメラのレクチャーを...





さて、ネパールではどんな出会いが待っているのか..楽しみです。

カテゴリ:

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.03 | [バナーリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラフィックバック \(9\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月アーカイブ

Day 107-02, Kolkata to Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#)引率スタッフ 徳田です

This is a escorting staff,

Tokuda,

ネパール1日目
First day in Nepal.

インドのコルカタから、第9カ国目のネパールへ入国しました。
We entered 9th country in Nepal from Kolkata, India.

飛行機から出た第一声が
「うわっ! 涼しい!」
The first word that came out from the plane
'Wow!! It's so coooooo!!'

ついさっきまコルカタにいて、
外に立っているだけで 暑さと湿気で酷だったのに、
先ずはこの道ごしやすさに感動しました。
We were in Kolkata only few hours ago and got lots of discomfort temperature and humidity even just standing outside.
First of all, we were amazed by such a cool weather.

ネパールの地を踏む、高野くん、原さん、森上さん、小林さん
Takano, Hara, Morigami and Kobayashi set foot on Nepali ground.



バスに乗りイミグレーションへ。
to go to Immigration by bus.



我々は事前にビザを取得していたので、ここでの記入は入国カードのみです。
もしビザを空港で現地取得する場合は、別にビザ申請書と写真1枚が必要になります。
大事なビザ取得料金もお忘れなく。
We just had to write an arrival card because we took out a Nepal Visa in advance.
If you take out an arrival visa in this airport, you need to fill in an application form of visa and one photograph for passports.
Don't forget visa application fees.

入国カードを記入する学生たち。
Students filled out arrival card.





世界一の箱、ヒマラヤが歓迎してくれました。
 この入国がどれほど楽しみで、渴望していたことが！
 The world highest mountain, Himalaya welcomed us.
 We were looking forward to entering to Nepal.



熊倉局長と日本語ガイドのアショカさんが空港まで向かえに来て頂きました。
 ありがとうございます。
 Mr. Kumakura and Mr. Ashok welcomed us.
 Thank you very much.





雨期のため生憎曇っていますが、山をバックにネパール最初の1枚です。
Unfortunately, it's cloudy because of rainy season.
We took a first group photo that the background is the mountain in Nepal.

日本語ガイドのアショカさん、丹下さん、小林さん、堤さん、錦木くん、
高野くん、原さん、柳川さん、熊倉局長、森上さん、清水さん。
Japanese speaking guide, Mr. Ashok, Mr. Tange, Kobayashi, Tsutsumi, Suzuki
Takano, Hara, Yanagawa, Mr. Kumakura, Morigami and Shimizu

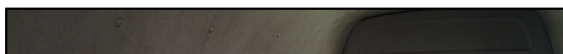


カトマンズ、トリブヴァン国際空港。
Kathmandu Nepal Tribhuvan International Airport.



バン2台に別れてホテルへ向かいます。
We took 2 vans to go to the Hotel we stay.

車内にて、柳川さん、小林さん、森上さん、原さん。
In the car, Yanagawa, Kobayashi, Morigami and Hara.





もう一台のバンの清水さん、アショカさん。
Shimizu in another van and Mr. Ashok.



学生たちはネパールにて、ポカラとバクタプルの2班に分かれて写真展を開催します。
Students that are divided in two groups will open the photo exhibition in Pokhara and Bhaktapur.

日本から送って頂いた写真展用の写真も無事受け取りました。
ありがとうございます。
They got photos which were sent from Japan.
Thank you for your cooperation.



写真展用写真と、開催へ向けて電話をする堤さん、アショカさん。
Photos for the photo exhibition, Tsutsumi and Mr. Ashok.



小ミーティング。
Small meeting.



この日を誰もが幾日も待ち望んでいたでしょう。

I didn't remember how long I was waiting for such a day of today.

インドを越えたからこそその感動。

FWの日本食のパラダイスはどこですか？

と問われたら、誰もがこのカトマンズです。と答えるでしょう。

You can't help being impressed because you have already climbed over India.

If you ask us where Japanese food paradise in FW is, I'm sure that everybody answer it is Kathmandu.

皆で日本の味、まさに「ふる里」に行きました。

We went to Japanese restaurant Furusato.



メニューに書かれている日本食の多さは随です。

あんなに多く一通には食べられません。

この日のメニュー選びは苦渋の選択が必要でした。

It was impossible to decide which food I should order because the menus we had were written so many food.

We needed to face very tough choice.



納豆！

Japanese Natto!!!

旨いです。

納豆だけでも全く苦することなく食べることができます。

まさにここは至福を享受することができます。

Unbelievably good.

No matter what you say to me, I could easily eat up such a beautiful Natto, even without rice.

We could enjoy blissful moment.

至福を得て、満足する高野くん。

Takano was truly satisfied with blissful Natto.



皆満足しました！

We were full stomach and satisfied with all of Japanese food we ate.

美味しかったです。ご馳走さまでした！

Thank you so much!





ネパールが始まりました。
Then, FW in Nepal got started.

post by 引定Staff | 日時: 2011.07.03 | [バナーリンク](#) | [コメント\(8\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引定ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

Day 107-01, Kolkata to Kathmandu, Nepal

[Tweet](#)

[Check](#) 引定スタッフ徳田です

今日はインド、コルカタからネパール、カトマンズへの移動日でした。

オックスフォード・ブック書店で見つけた「INDIA NOW」
3週間で学生たちはどんな現代インドを目にしたのでしょうか。



9:55
頼んでおいた日本語ガイドさんと、2台のバンは約束の時間5分前になって来ず。
これがインドなのだ。と寛大に待ちます。



コルカタの旅行会社に電話をすると
「えっ？ NO NO 10:30という約束じゃないですか？」
「違います。10:00に出発予定です。今すぐに来て下さい。」

10:20
暫く待つと、汗だくになったガイドさんとバスが到着



インド最後の集合写真。指定泊ホテルの方たちと。





10:25
荷物を積み込み、バスに乗り。

清水さん、小林さん



森上さん、原さん



丹下さん、鈴木くん



高野くん、堤さん



柳川さん、車内風景





11:15
約45分でコルカタの空港に到着しました。



11:30
さっそく搭乗手続きを始めようとしたが、
少し待ってから、と空港職員にいわれた為、暫し休憩。
なにやら学生内でおいしいスナック菓子が発見されたそうです。



高野くん、清水さん、何やら話す丹下さん。



11:45
搭乗手続きへ。

空港に入る時にパスポートとチケットの確認。
搭乗手続き前にもパスポートとチケットの確認。
インドが今までの8カ国中一番しっかりしています。



ここで預け荷物をX線に通し、ひもを十字に取り付けてもらいます。



12:00

各社のカウンターがたくさん並んでいるわりに、
結局が一番手前のエアアジアのカウンターでエアインディアの搭乗手続きでした。
やはりこういった柔軟な対応がインドを感じさせますが、
悲しくも別れなければなりません。



写真左：手荷物にはタグを付けます。

写真右：チケット裏のおじさん。



12:17

搭乗手続きカウンターにて発券後は、
カウンターでもらった出国カードの記入が必要です。

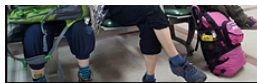
みなイミグレーションの前に記入していました。

丹下さん、小林さん、森上さん、鈴木くん



柳川さん、堤さん、原さん、清水さん、高野くん





12:42
 イミグレーションを済ませて、搭乗時間待ち。
 朝食を食べてから少し時間が経ったので、
 ここにきてお腹が空いてきてしまいました。



13:15
 搭乗時間を告げるアナウンスがあり、手荷物検査をします。



13:24
 バスに乗り、50m先の航空機へ移動。



13:30
 今までになくミスト吹き出る機内はやはりとても寒いです。
 上着を羽織っている学生が多かったです。



14:10
 副パイロットの方も一緒にサープしてくれた昼食。
 これが本当にインドカレーの最後でしょう。

ありがとうインド、ありがとうインドカレー。
 帰国したら東京のインドカレーを食べてみたいです。



香に包まれた中、ネパールへ向かいます。

post by 引率Staff | 日時: 2011.07.03 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2011 > 2011年07月 アーカイブ

11.07.01

Day 106, Kolkata, India

[Tweet](#)

[Check](#) 引率スタッフ徳田です

コルカタ最終日

街を少し歩いてみました。



コルカタは英領インド時代の首都だったこともあり
その面影を感じる建築が街の至る所に残っています。



最終日の気温は30度(写真左の時計より)。

気温は今のインドとしてはそこまで高くはないかもしれませんが。

しかし！

吹き出す汗が留まることを知らず、

滝のようにとはまさしく今日のことを言うのでしょうか。

さすが、湿度90%以上は格が違います。

実際はもっと気温高かったんじゃないでしょうか。





ハウラー橋へ。



ここにはバラサシと同じようにガートがあり、沐浴をしに来る人、花、売りに来る人が集まっています。



コルカタは本当にいろいろな景色を見せてくれるので美しいです。





オレンジ色の花が汚れます。



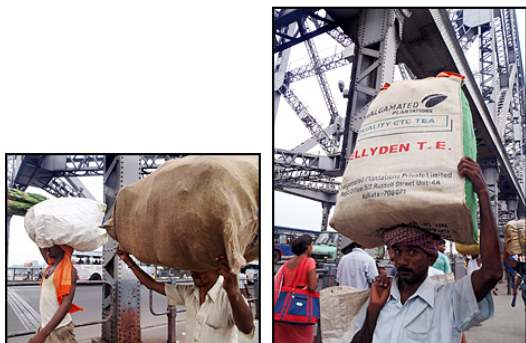
振り返ると、自分がここを汚すぐに通って来たことに少し驚きました。
実際に自分の足で通ると、
引いて見るだけは印象が少し変わってしまうようです。



フーグリ-川に架かるハウラー橋を渡り、ハウラー駅へ。



ここは頭に重そうな荷物を乗せた人々を多く見かけます。
日本も昔はこんな景色があったのでしょうか。
みなバランスよくせっせと運んでました。





ハウラー駅前。



チャンドマリ・ガート (CHANDMARI GHAT)

本当はこの対岸にもガートがあり、そっちにも行ってみたかったのですが、気づいたらここまで通り過ぎてました。



沐浴している人、泳いでる子供たち、見物している人がたくさんいます。



水量多く流れる土色に濁ったフーグリー川。

さすがにこの暑さに夢った自分。
もちろん最初からこの日本人の体には入る力はないですが、
清涼ならば飛び込んでしまいたいと思いました。
彼らの沐浴する姿がどれほど気持ち良さそうに感じたことが。

本当に蒸して暑い日でした。





この通りでは古い師が店を構えています。
2回通りましたが、写真左のバラソルのおちゃんには常に客を抱えていたので、
おそらく一番当たって人気なのでしょう。

コルカタに来たら是非どうぞ。



ここでは、政治の講演のようなものをしていました。



車、バス、中継車もあり、その上から見ている人も多くいました。
注目の演説があったのでしょうか。



写真左：映画のポスター
下のポスターはキング・オブ・ボリウッドの最新作！
悔しくも本日開幕でした。

写真右：郵便局前でタイプライターを使って手紙を打つ人。
思ったより識字率の低い印象があったコルカタ。
そういった人の為に、代筆者が欠かせないでしょう。





そして、ホテルへ戻りました。

暑すぎてさリットルくらい汗をかいたと思います。



今日で本場インドカレーともお別れ。

明日はとうとうネパールです！！！！

カテゴリ:

post by 引室Staff | 日時: 2011.07.01 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)